

*SD*C ファンダイビングマガジン

2014 4 No.61



日本シニアダイバーズクラブ
SDC Japan
<http://sdcj.csidc5.com/>

C O N T E N T S



P 6・与那国



P 7・大瀬崎



P 8・プエルトガレラ



P 10・サイパン



P 11・トンガ



P 12・コモド



P 14・ソコロ



P 15・モルディブ



P 16・エスペランス



P 18・メキシコ



P 20・セブ



P 22・アロール



P 24・フィッシュロック



P 26・モアルボアル



P 28・ノルウェー

-
- 1 新年会報告 桀島三枝子
 - 2 新年会に参加して 大隅楠夫
 - 3 バリ島の事故から学ぶ 大隅楠夫
 - 4 新年会返信はがきより 大隅照子 坂東正朗
 - 5 創立20周年に思う(シリーズ2) 大隅照子 坂東正朗

国内ツアーレポート

- 6 沖縄 与那国ツアー 金子弘之
- 7 冬の大瀬崎・キンカンドウと遭遇 氏家友枝

海外ツアーレポート

- 8 プエルトガエラ7日間ツアーレポート 河合貞夫
- 10 サイパンツアー 西島喜代子 渡里喬
- 11 Kingdom of Tongaの座頭鯨 今枝淳平
- 12 コモド竜宮城クルージングツアー 良縁寺悦子 島尾愛子 木谷治江
- 14 メキシコ領のガラパゴス“Socorro”ソコロ諸島 今枝淳平
- 15 奄美の“とめさん”と行ったモルディブクルーズ 川上秋子
- 16 西オーストラリア エスペランスツアー 百瀬由美子
- 18 パショウカジキ・セノーテダイビング(メキシコ) 加藤倭朗
- 20 フィリピン 2リゾートツアー 大隅楠夫
- 22 本当に秘境だった 佐々木肇
アロール～マウムレ・クルーズ(インドネシア)
- 24 東オーストラリア フィッシュロック 島尾愛子
- 26 モアルボアル・何故か来てしまう海 林賢子
- 28 空を舞うオーロラの地 山本伸子
3か所のフィヨルドでオルカとザトウを追う

フィッシュウォッチング

- 30 アカハチハゼ 江藤征雄
- 31 写真集を作っています 通山多恵子

同好会だより

- 32 ミュージックサロン 海老原新
- 33 吞和会 第40回「新年会」 宮本節子
- 33 第5回 多摩・武蔵野ご近所の会 木村満男
- 34 アウトドアを楽しむ会のツアーレポート 宇留賀達雄
- 35 同好会からのお知らせ

賛助会員コーナー

- 37 賛助会員通信

インフォメーション

- 41 SDCツアーアイデア一覧表
編集雑感

表紙

- 1 ビックドロップオフ 大石和明
- 2 国内・海外ツアーアイデア、コンテンツ 平野昌子 福田孝子 鈴木麗子 都築和子
- 3 写真館「初めての…」
- 4 SDC主要行事案内。SDC紹介・入会案内

2014年 新年会報告

総務 767 桃島 三枝子

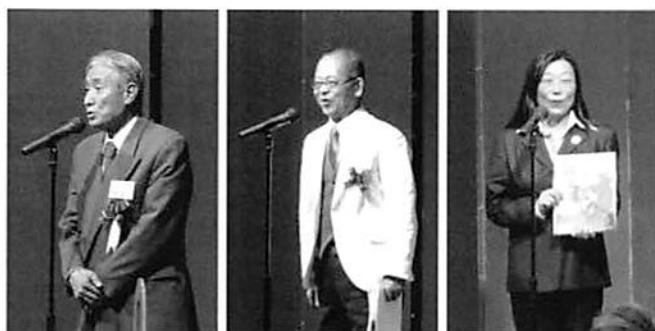
1月26日(日)12:00「フロラシオン青山」にてSDC創立20周年記念新年会が開催されました。昨年参加できなかったため、私にとっては初めての新年会ですので、総務として無事大役を果たせるのかとても不安でした。



特に、各テーブルの懇親を深めていただくために、今回はテーブル係をベテラン会員さんにお願いするということで、連絡を取らせていただいたところ、皆様「ご苦労様」というねぎらいの言葉と共に快く引き受けて下さり、20年に至る会を多くの方々が支えてこられたことを感じました。遠方からの参加者も大勢来ていただき、総勢135名の盛会でした。

パートⅠ

総務の今澤さんの司会で、大隅会長の「20年を振り返って」の挨拶に続き、鷺尾統一郎様(元マリンダイビング副編集長)、大橋禄郎様(元SDC顧問)、後藤ゆかり様(マリンダイビング副編集長)の3氏より来賓のご挨拶をいただきました。



乾杯の発声はこの日のために駆けつけて下さいました、元SDC会長の関川清一様よりいただきました。力強い乾杯の後、会食が始まり各テーブルはテーブル係の進行で歓談は大いに盛り上がり、司会者のマイクの声も聞こえないほどでした。会食が終盤に差し掛かったところで、初参加の皆様、日頃お世話になっている賛助会員の皆様の挨拶と、遠方から参加していただいた皆様の紹介がありました。



初参加の皆さん

江藤副会長の挨拶の後は、恒例の「減圧ソング」です。今回は役員がステージに上がって皆様をリードすることになりましたが、練習不足の私はステージの端でごまかしながら踊っていました。1段高いステージからは皆様の楽しそうな様子が伝わってきました。



会食後の記念撮影は昨年と同じ階段上からの撮影で、改めて沢山の方に参加していただいたのがわかる写真となりました。

パートⅡ

今回は会場を変わることなく、引き続きふじの間で行いました。賛助会員の方々には事前にパンフレット等参考になるものがあれば持って来ていただくようお願いしていましたので、実際に具体的なツアーや話をしている会員さんがちらちらで見受けられました。パートⅠでは席を移動しないようお願いしていましたので、パートⅡでは親しい仲間が集まっての歓談がテーブルに関係なく行われていました。楽しい時間はアッという間に過ぎてしまい、閉会の時間が来てしまいました。ネームプレートを回収しながら皆様の楽しかった様子を見て、不行き届きなところがあったかもしれません、無事終わってホッとしています。皆様のご協力に感謝しています。ありがとうございました。





次回の新年会は残念ですが、「フロラシオン青山」が耐震工事のために使用できず、2015年1月24日(土)

アジュール竹芝で行います。大勢の参加をお待ちしています。

新年会に参加して

123 河村 啓子

SDC入会以来、一度も新年会に参加する事無く過ごしてきました。でもいつも気になっていました噂の減圧ソングのダンスをとうとう踊ってまいりました！楽しかった！ツアーでご一緒した皆様とも久しぶりにお会い出来、参加者皆様のパワフルさに驚き、仲間が沢山いる事に安堵し、ツアーの参加申し込みまでしてきました。なんとも中身の濃い新年会でした。シニアダイバー恐るべし！

783 市川 千尋

昨年入会させて頂きました市川です。思い返すと8年前、長崎に単身赴任の折、寂しさから当初は居酒屋通い…それも飽きて、折角長崎の自然が近いのだから、ダイビングを始めようと地元ショップの門を叩いたのがきっかけでした。それからダイビング三昧でインストまでなりましたが、50歳を過ぎてから楽しめるダイビングをしようと考えたのが入会の

きっかけでした。

今回新年会に参加して、皆様の素晴らしいパワーに元気を頂きました。早々長崎・上五島のダイビングツアーや運営をお手伝いすることになりましたので、今後ともよろしくご指導頂ければ幸いです。

793 毛利 曜夫

昨年8月に入会し、2014年新年会並びに12月の関西地区懇親会に初参加致しました。

新年会は大勢の参加者に驚き、大隅会長や来賓方々の有意義なお話が聞け、先輩、ご同輩、三次会では"お笑い芸人……"のパワーまでも頂きました。関西地区懇親会はこじんまりと、会が進む内に打ち解け共に楽しむ事が出来ました。現役の為許せるかぎり、ツアーや会に参加し、お知り合いになり友人を作っていくたいと思っております。文末にですが、進行係として動かれていた会員各位に感謝申し上げたいと思います

796 田口 清美

初参加の新人会員を囲む懇親会に続き参加した創立20周年記念の新年会。知り合いも少なく思い切っての参加でしたが、たくさんの方のお心使いと美味しいお料理にダイビングでのいろいろなお話、本当に参加してよかったと思えるとても楽しい時間でした。

同時に20年という長い期間の会の盛況が、この雰囲気とお集まりの方々の熱意と知恵によるものであることが、とても良くわかる会でもありました。これから様々な年代や環境の方々と共に通の趣味ダイビングを通してお近づきになれることができ、今からとても楽しみです。皆様お手柔らかに、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

802 細田 満

新人として初参加しましたが、お会いした各会員様の年齢層が非常に幅広く、各自がダイビングの楽しさを生き生きと語り合い、大変楽しく有意義な新年会がありました。

世界各地をSDC仲間たちと楽しく元気にダイビングに出かけられている姿をお聞きしていると、ダイビングは年齢に関係なく仲間として一緒に潜れる有意義性を再認識させられました。

私のダイビングスタイルは”南の島”で特定のポイントを繰り返し潜り、その時々の海の変化を確認して楽しんでおります。一番の関心ごとは、各地のサンゴが90年代後半より、海水温の上昇による白化現象、ヒトデ等によりサンゴが苦しみ、減少、死滅していることあります。支援団体による再生プロジェクト等に参加して少しでも役立てればと努力しています。各幹事様大変お疲れ様でした。

809 萩野 和子

去年11月下旬の「水中映像発表会とお食事会」にお誘い頂きましたのがキッカケです。SDCのご活躍は以前より伺っていましたが、ナカナカご縁が無く今回に到りました。

新人紹介のご挨拶は、歩んで来た豊富な経験が裏打ちされていました、同じダイビング愛好者と言えども多種多様と改めて思いました。一段高い金屏風の前でお仲間に入り、スタートラインに立ちました。これから的时间を穏やかで楽しい方向に繋がる事を期待しました。

バリ島の事故から学ぶ

005 会長 大隅 楠夫

2014年2月14日にバリ・レンボンガン島で日本人ダイバー7名が行方不明となる事故が起きました。5名は帰還できましたが1名死亡、1名行方不明の悲しい結果でした。新聞などの情報によれば、バリ島とレンボンガン島の間のバドゥン海峡は潮の流れが速い上に複雑で、年に数件の漂流事故が起きているそうです。大潮、天候不安定な時期の上に天候の急変と悪い条件が重なって起きた事故です。7名一緒に浮上したがボートが見つからず漂流したわけで、ボートとの連携がうまく取れなかったこと、ボートキャプテンの判断の甘さが大事故に繋がったと思います。今回の事故はSDC会員もよく行く、マンボウで有名なペニダ島に近いので気になります。

安全潜水を行動指針とするSDCの立場でこの事故から学ぶことはないか考えてみました。

シニアダイバーの心得7か条(山見信夫先生)に下記条項があります。(抜粋)

- (2) 自分が積んだトレーニング以上のダイビングに挑戦しない
- (5) 謹める勇気を持つこと(器材、体調、天候、海況、スキルなど不安があったら見送る)

この2点から考えると、今回の事故の起きたポイントおよび海況はSDC会員にとっては望ましくないと思います。問題は参加するダイバーがそのポイントの情報をどの程度知って参加するかにあります。

SDC会員の多くは大物派、特にベテランになると流れのあるポイントで群れを好む人が多いです。レンボンガン島以外でも、モルディブやパラオ、最近人気のラジャアンパッド等で流れるポイントに潜ってヒヤリを経験した会員は多くいると思います。しかし、流されても問題なかった、魚影が濃く楽しかったという、好みの方の情報だけが大きく伝わることが心配です。SDCは20年間の経験からヒヤリとするポイント情報の蓄積があります。今後、ベテラン会員から情報収集を行って注意すべきポイントをまとめたいと考えています。その情報によりSDC会員が、今回のような事故に遭遇しないようになればと思います。また海外旅行保険加入の重要性も再確認しました。ご協力を願います。

新

夫婦で国内外の旅行を
楽しんでいます。
541 関谷 恭正

年

2014年はツアーに参加
させていただきたい。
795 塩澤 真由美

会

今年も元気に潜りたい。
417 豊田 映子

出

何時もツアーをチェックし
ています。都合が合えば是非
参加させてください。
140 上田 孝志

欠

母が入院して実家に帰っていま
す。ダイビングはできませんが、
陸の遊びを楽しんでいます。
356 栗本 はるみ

葉

介護中でツアーに参加でき
ずにいます。
516 中村 加代子

書

家庭の事情で2013年は
一度も潜れませんでした。
625 東田 澄江

腰痛で苦しんでいます。
090 南 要次

よ

年齢を重ねると体の不具合が発
生します。機会があれば参加し
たいと思っています。
678 足立 公平

り

今年度で退会します。
お世話になりました。
524 且 美鈴

やっと400本になりました。
スキルが伴いません。
715 奥村 俊子

抜粹

体をこわし水中で怖い経験
をしました。もう潮時だと
あきらめ退会します。
561 佐々木 肇

創立20周年に思うこと(シリーズ2)

006 大隅 照子

SDCを支えているのは女性? なんて言うと殿方に睨まれそうですが…

創立20周年、こんな大所帯を大したトラブルもなく続けられたのは何だろ? と考えてみました。

自分なりに感じたことは女性群がとても利口で素晴らしい集団だったからではないかと。どんな事でも人間が集まると何かトラブルが発生するものです。ましてやおばさんの集まりときたら「破壊するのも時間の問題」ってケースはいくらでも転がっています(笑)。女性が多いSDCで何故こうも安定して運営できたのか~、多分女性群のお蔭もあるはずです! 今迄いろんな苦難を乗り越え、人生経験をし、何でも分かっている冷静で理知的女性がとても多いです。これほどイザコザを起こさない女性集団はめったにないです。人の付き合い方をみていても距離の置き方等スマートな大人を感じます。グループ化した後身動きできない状態になる例を知ってか、グループはあっても自由に他の友達とダイビングに出かける柔軟さ、これ簡単そうでなかなか出来るものないです。それをお互いに普通にやっている女性群、私は「さすが~」感を抱き尊敬しています。

これからの時代は女性次第かも~、勿論殿方はSDCの大黒柱であることは確かですがその大黒柱が立っている地盤を固めているのは利口なおばさん達だと思いますか?(笑)

この状態を維持出来たらこれからのSDCも安泰でしょう!



018 坂東 正朗

趣味で始めたダイビングを15年位まではショップのツアーに参加していましたが、50歳半ばになり元気な仲間たちと行くのもいいが、同世代の仲間とも楽しみたいと思っていた頃に、愛読していたマリンダイビング誌の紙面の中で、初代会長になられた上村さん達の座談会の話の中で、シニア世代のダイビングの集まりが出来そうなことを知り、その後会の創立と同時にメンバーに入れて頂き20年になりました。



当時は私よりはるかに経験豊富な先輩が多くダイビング以外でも雑談の中で本当に得るものが多くありました。同じ趣味を持つ仲間と言う事で気兼ねなくお付き合いしていただいた皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。この会に入らなければ、これほど多くの皆さんと接する機会に恵まれなかったと思います。

お世話になっている会に少しでも出来る事があればと、薦められるままに役員をうけたこともありました。発足当時からボランティアでここまで会の発展に尽くされた役員の皆さんのご苦労が良く分かり、貴重な経験もさせていただきました。

会の中にダイビング以外にいろんな趣味の会がありますが、こちらの方でも楽しませていただいています。お世話している幹事さんは大変ですが、ダイビングに行く機会が少なくなると会員同士の交流が少なくなりますが、趣味の会などで皆さんとお会いできる場も増えてきますので助かります。海に行かなくても昔からの仲間ばかりでなく最近入会された方との交流も楽しみの一つです。

創立から20年、皆さんから本当にいろんな事を学び楽しませて頂いたことに心から感謝しています。私自身は以前より海に出掛ける数が少なくなりましたが、体調に気を付けてもう暫くの間ダイビングを楽しみたいと思っています。今後も会の発展を心から願っています。

沖縄 与那国島ツアー

(ツアーNo.S1451 2014年1月7日~14日)

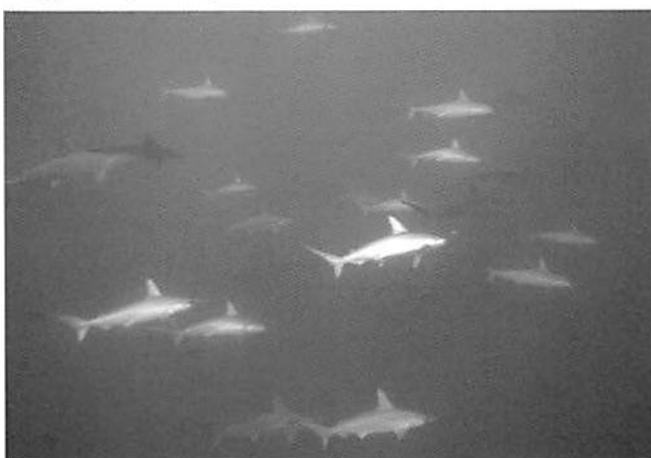
幹事 S15 金子 弘之 レポート ツアー参加者



780 岩瀬 松子

与那国島のハンマーへッド狙いを目指しての練習を昨年の8月から八丈島、神子元島、阿嘉島の海で潜降や泳ぎの練習を続けてきた私。そして年明けの1月9日遂にその日が訪れました。初めて眺めた与那国島の海はどこまでもブルー、ショップのスタッフはみなさんフレンドリーでリピーターのようにリラックスできしたこと、またご一緒した仲間が愉快で温かくなんとも楽しい4日間のダイビングのスタートでした。そしてハンマーの群れは3日目3ダイブ目で私たちの目の前にその勇壮な姿をあらわしました。エントリーしてしばらくは金子さんとYDSのガイドさんが左右二手に分かれて深く潜りハンマーを探し、私たちは浅い水深をキープし、いざという時の合図を期待しつつ、ギヤーをローに入れ何時でも奴らが出てきても良いように戦闘モードロックオン！流されて泳いでいました。そしてその合図が金子さんから指示され、その方向を目指して全速力で泳ぎその群れの前で止まると群れはゆっくりと目の前を移動していました。そして期待をはるかに上回る大きなハンマーへッドシャークの群れ。数にして100匹以上が現れたとき、夢心地で群れを眺めていたダイバーたちのシルエットと立ち上る空気の泡、そしてハンマーへッドの群れが一体となり一枚の絵のように私の目には映りました。

全てのダイブの練習はこの日のためでしたが本当に嬉しかったですね！



今回のツアーでは2日目に新年初ハンマー、そして初めて巨大なマンタと出会い、バラクーダの群れも見ることができたことも忘れない体験となりま

した。来年も絶対行きます。日本最西端の海へ！

771 井上 恒

「は～るばる来たぜ」日本最西端、国境の島与那国へ。青い琉球ガラス色の海中15m付近を流していると、突然深場から金子さんの「ハンマー発見」のサインがでた。皆で一斉に潜降開始すると「いるわ、いるわ。ドデカいのがわんさか」100匹以上の群れ、でかい魚体は3mをはるかに超え凄いの一言、例えると牛のようにぶ太い、大きい体をゆっくりとくねらせて並んで泳いでいる。そのハンマーに私が何と大接近できてこれまた大感激、カメラ撮影成功。



4日間のダイビングでは他にバラクーダの群れ、マンタ（撮影成功）、イソマグロ、カジキマグロ、等が現れて大興奮した。おまけにジンベイザメも現れ737井上宏さんはバッチリ写真に納めています。初日に「海の神様」にお神酒を供え、今年も安全で楽しいダイビングが出来ます様に祈願したお蔭かな。今年の潜り初めは大いに楽しめました。「いいね、いいね、だよね」来年も初潜りは与那国で決まりだね！

755 碓田 敏子

遂に出ましたね！ブルーウォーターから現れるあの勇姿！最高！ありがとうございました。

737 井上 宏

ジンベイザメみました。

冬の大瀬崎・キアンコウと遭遇

(2014年2月22日)

レポート 603 氏家 友枝



昨年から今年にかけて結構足しげく大瀬崎(西伊豆)に通っている。暮れから正月にかけては泊りがけで潜り、大瀬神社への初詣や餅つきを楽しんだ。

大雪が降った後なので、途中の道路に雪がないことを確認して、朝早く車に機材を放り込んで出かけた。今回使用するドライスーツは新しく、初めて着用するのでちょっと不安。古いスーツも合わせて持つていこうかと思ったが、ピンホールが開いているスーツでは役に立たないので止めにした。

ショップに着いてもう一人の男性ゲスト、ガイドと大瀬崎の最近の様子について話をしたところ、先週までは湾内、外海両方でアンコウ、キアンコウ情報がしきりにあったが、今週はどこへ消えたのか全然見られていないとのこと。遠いところ雪の心配をしながら来たのだから、キアンコウを見せてよ、と冗談でガイドにいうと、にやにやしているだけ。

1本目は湾内。一緒に潜った男性も大瀬崎には慣れているようで、ガイドもこの2人ならと思ったのかどうか、いつも潜ったことのないエリアに連れて行ってくれた。冬の大瀬崎らしく透明度は驚くほどよく、明るい日差しが入って寒さを忘れるほど気持よかった。今まで見たことがない広々した砂山の景色に見とれると、水面近くに沢山のボラの群れが現れた。水の青さとボラの銀色が本当に綺麗で改めて大瀬崎の良さを見直した。巨大なヒラメや極小のヒメイカなどを見て満足のいくダイビングで1本目を終了した。

昼食を挟んで2本目は先端へ。正月に潜ったときはゴロタに道路が造られていて出入りし易かったが、今日はその「道」が無く、以前のゴロタに戻っている。どうしたのかガイドに聞くと、すぐに時化で壊れてしまったとのこと。この先端のゴロタは足腰の弱ってきているシニアにはとても苦手なもの。そこで私もエントリーは機材を背負って入ったが、エキジット時は外させてもらうことにした。

エントリーして、すぐに鶴が目の前に現れた。ちょっとびっくりしたが、魚を取るために海中に突っ込んできたらしい。その後深場へ移動し、かろうじて残っているといっても過言でないようなソフトコーラルのエリアを見、少しづつ深度を浅くして、10m位のところへ来たとき、突然ガイドが振り向き

私たちにガッツポーズをした。ガイドが指さすほうを見ると大きなキアンコウがいる！80cm以上はあるかと思われるキアンコウがじっとしている。ゲストもガイドも当然、写真を撮りまくった。おとなしい魚で、目をぐりぐりさせたり、時々ひれを軽く動かす程度で、じっとしていてくれたので、写真は撮り放題だった。



エキジットしてからガイドに聞くと、キアンコウがいた場所はほぼ潜水禁止エリアに近いところだったと言う。無理を押して大瀬崎に来てよかったと思った。昨年、マンボウを見、今回キアンコウを見たらもう大瀬崎に来る目的をほぼ完遂してしまった。と、その旨をガイドに言うと、まだアンコウを見ていないでしょう、アンコウの目は宇宙を現すような目ですよ、といわれた。宇宙を現すような目ってどんなだろう。しようがない、寒くともまだ大瀬崎に通うことにしようかと結論した。

大瀬崎のもう一つの情報をついでに記しておこう。

今は漁業権の関係か、潜ることができなくなっているポイント「ホトケ」が江梨から出るボートなら潜れるという。平日限定、人数は4人以上、料金は2ボートで18,000円から20,000円くらい。もし大瀬崎に興味がある方がいらしたら、ご一緒しませんか。9月末から10月の大瀬崎は水温も上がり5mmウエットで潜ることができます。

公認ツアーレポート

プエルトガエラ7日間ツアーレポート

(2014年2月18日～24日)

幹事＆レポート 070 河合 貞夫



2014年2月18日(火)に関西6人、関東3人の計9人はそれぞれの空港より出発し、マニラに午後集合。ここで外山氏出迎えの上、車2台に分乗しBATANGAS市へ約2時間走り、そこから船で約1時間余りでPETRO GALERA(ミンドロ島北部)のSABANGに日没寸前の18時にはほぼ予定通り到着し、まずは一安心。

翌日の1本目に宮内氏の300本記念ダイブとなり、水中で写真をパチリ。



このダイビングスタイルは同じフィリピンであっても、原則ヨーロッパスタイルで、殿様・お姫様ダイビングではなく、エクジットもタンク担いでラダーを上がるということであったが、さすがのSDC会員もこれはチョッと腰への負担等、問題があるので、交渉をしてウエイトベルト、タンク等は外して受け取ってもらうということにして、あとは問題なくダイビング出来ました。

ポイントまでは近い所で3分、遠い所でも15分以内のところが多く、1本潜る度に港に戻るというやり方でした。午前中2本、昼食後1本の1日に普通は3本潜って終わるというやり方でした。

ただ3日目はベルデ島まで約1時間程かけて遠征した時は1本潜って島に上陸、休憩後また1本潜ってからランチを取り。そのあと港に戻るということでこの日は2本だけで終わりました。

結局4日間で11本潜りました。水温は大方の予想を裏切って意外と低く25℃前後で長時間の潜水は少々こたえるので、30分位に要望したりしましたが、その分陸上ではほとんど湿気もなく、あの不愉快なベタベタ感は全く無く、いたって快適に過ごせま

した。透明度はさすがに良くて、上述のベルデ島のドロップオフ等は50m近くまで透き通っていました。魚は南の島で見るものはほとんど居ましたが、ポイントによっては小物の多い所や大物の多い所、あるいはサンゴの美しい所とそれなりに個性があり結構楽しい所でした。

SABANGの町は昔の漁師町のままという事で、町のメイン部分は端から端まで歩いても約10分で細い路地でつながっていて車が通れそうなのは隣町への1本道しかないようなところである。

このプエルトガエラに来る外国人は圧倒的に中国人、韓国人で占められており、3番目は北欧関係の人も多く見られました。私達が滞在している間にツアーに来た日本人は1人も無く意外な感じがしました。

ここまでわざわざダイビングに来る日本人はいないようです。しかし小さな漁師町には不似合いのような大きなナイトクラブやダンスホールがあり、かつ大いに賑わっていたのには驚きました。

我々が宿泊していたのはAngelyn's DiveResortでしたが食べ物は余り濃い味でなく食べやすく、特にお粥は皆さんに好評でした。又、利用したダイビングショップは宿泊しているリゾートの隣にあるFremitierDiversで、ブリーフィングはすべて英語でした。SDCツアーのいいところは超ベテランも初心者も仲良くダイビングするところであるように、今回も正しくそんな取合せで実施しましたが、初参加者の感想文(後に掲載)のようにそれなりに楽しんでもらえたようなので幹事役としては一先ずホッとしています。



帰国前日はダイビングはせず近くのビーチに出かけBBQを美しい海を見ながら食し大いに満足した上に、その夜は宮内氏の300本記念ダイブを祝して皆で盛り上がり、今回のツアーは無事に終える事が出来ました。



この場をお借りして関係各位のご協力に感謝申し上げます。

805 吉田 延子

SDCに今年1月入会させて頂き、今回初めてツアーに参加させていただきました。まだ初心者の私にとって、初めての海外ツアーだったので不安と緊張でいっぱいでした。

5日間で11本のダイビングを、サンテクノの外山さんに付いてもらい何とか終えたのですが、海中の美しいサンゴや魚達を見てゆっくり楽しむ余裕がほとんどなく、自分自身をコントロールするので精一杯でした。

その上、3日目に船酔いを経験し気持ちがかなり下降気味になりました。しかし、ベテランの皆さんに迷惑をお掛けしたにも関わらず、こんな私に毎日皆さんから声を掛けていただき、色々とアドバイスをいただいたので、明日も頑張ろうと思いました。

本当に皆さんの気持ちがとても嬉しかったです。それとダイビング以外に食事も毎日内容を変えていただきとても楽しめましたし、マンゴーの安さ美味しさにも感激でした。特に最終日、ミンドロ島で青い海を見ながらのバーベキューは最高でした。

何もかも初めてで内容の濃いツアーになりました。これからもっと経験を積んで海中散歩を楽しみたいと思います。

参考者

070 河合 貞夫 305 宮内 弘人 306 宮本 節子
417 豊田 映子 434 百瀬由美子 535 小林 純子
678 足立 公平 774 斎藤 満弘 805 吉田 延子
S67 外山 一孝

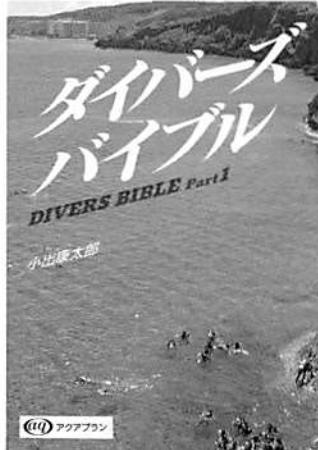
スキルに関する書籍紹介

SDC広報



★ダイバーズバイブル1~5 小出俊太郎著

出版／アクアプラン



1994年初版でもう20年以上前の話ばかりですが、実際にあった話が沢山載っています。これを読んでおけば気を付けなければならない事や、もし遭ってしまった場合の対処が違います。残念ながら絶版で中古しか購入できません。

★だいこんダイバー！？

出版／つり人社

基本的な事とダイコンに関する数々の思い込みの誤りを一つ一つ正すと共に、のダイコンを実際に一緒に持って潜水して、それぞれの無限圧潜水時間や減圧指示の表示がどのように異なるのかを実際に書かれています。

赤木正和著

だいこんダイバー！？

Cカード取得後の必読書 赤木正和・田中光基



★海で死なないための安全マニュアル

出版／水中造形センター



潜水事故の要因は、すべて陸上にあります。陸上で、身体のコンディション、器材のチェック、海況、潜水計画をじっくり見つめれば、それほど潜水事故は起きるものではありません。本書では、ダイバーからの潜水事故に関する素朴な疑問や質

間に答えてくれています。

サイパンツアー

(2013年12月2日～6日)

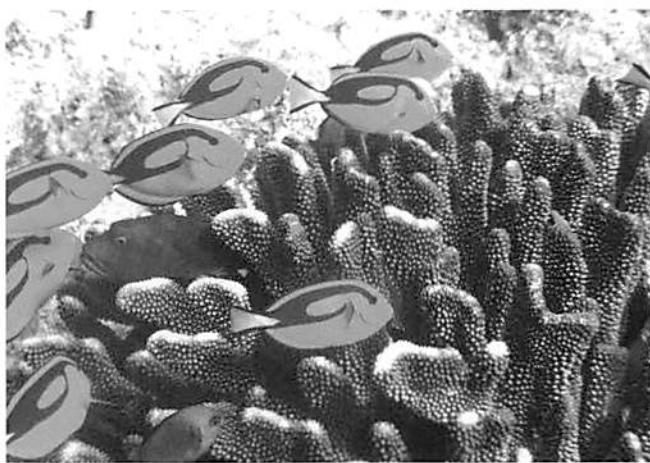
幹事 440 石川 勝 レポート 765 西島 喜代子 682 渡里 喬



100本記念ダイブ

SDC主催のツアーハは2回目ですが、参加者の名簿を受け取った時には超ベテランの皆様ばかりで緊張しながら成田へ向かいました。初めて石川さんとお会いしましたらニコニコと迎えてくださりホッとしてました。今迄個人とか2～3人でしか潜った事が無かったので1日目はバディである石川さんを忘れインストラにくつっていました。2日目に「僕は西島さんのバディだよ」と言われハットしました。(基本を忘れていました)それからは潜降も浮上も石川さんをしっかり目の中に入れてマリアナブルーの海を楽しみました。

今回のダイビングでは、自分の似顔絵の入った色紙に皆さんのが一言コメントを書いた100本記念の色紙を戴きとても良い記念に成りました、本当に有難うございました。是非またご一緒させてください。



初めてのサイパン

石川さんのツアーハ久しぶりに参加しました。50本、100本の記念ダイブを祝って頂き、今回も偶然300本記念に当たり、水中では認定書を頂き、ガイドさんに集まる魚に邪魔されながら記念撮影。EX後石川さん作成の似顔絵入りの寄書色紙を頂き、記念に自宅の机の前に飾っています。

私はCカードを取ってすぐSDCに入会しましたので、一般ダイバーが最初に良く行く様なポイントには行かず、なかなか行かないような所ばかりに連れて行ってもらっています。という事で参加者の皆さんは何回目かのサイパンですが、私は初めて行きました。サイパンの話を聞くと必ずグロットを聞いていましたので、行ってくれるのかと期待していました。

した。2回目以上の人々は希望しないので1人でも行くつもりで、ショップにお願いしていましたが、波が高くダイビングが出来ないとのことでした。サイパンに行ってグロットを見ないので話にならないと思い、島北部に有る戦争慰靈碑に祈りを奉げながらタクシーで見物に行きました。沢山の中国人がシュノーケルをしていましたが、海から上がるのに苦労していました。タンクを背負ってEXする事はたぶん無理かと思いながら見ていました。シーズン的には5、6月が良いとのことで、再度チャレンジしてみたいと思いました。



海は透視度のいいブルーに綺麗なサンゴ、カスミチョウウチョウウオ、ナンヨウハギの群れ、タイマイの睡眠、マダラトビエイの群れや、洞窟に差し込む光などを堪能しました。



参加者

287 石岡 弘至 354 横井 康江 368 石井 幸子
415 加藤 京子 440 石川 勝 627 小沢ユリ子
654 田谷千衣子 677 小島 初枝 682 渡里 喬
727 内藤 季完 752 橋本 和子 754 小笠原末子
761 田中恵美子 765 西島喜代子

Kingdom of Tongaの座頭鯨

(2013年9月26日～11月7日)

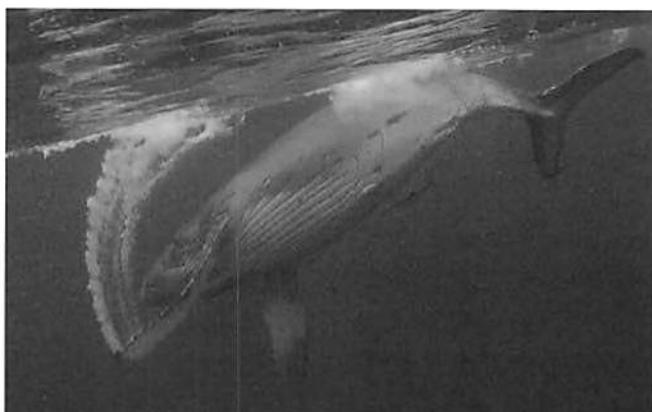
レポート 641 今枝 淳平



トンガ本島のもうひとつ先にある此の頃有名になってきたババウ諸島の海と違い、この時訪れたトンガタブの海では、目の前で、爆弾が破裂するような音を立てて、鯨が、突然“どっかん”、“どっかん”と浮かび上がって来て、そのさまは身の毛もよだつ凄まじさだった。

想像を超えるでかい鰭や、若葉マークのような形をしたドでかい尾鰭が、鯨が急潜降するたびに巻き起こす複雑な激流に巻込まれそうになる恐怖は半端ではない。

この時に撮ったビデオは、大波で揺れたせいも勿論あるが、怖くて必死に逃げ廻った為、もう、ユラユラに揺れて、まともに見られたものではない！（笑）



そうは言っても私のワイドのビデオは、余程相手に近づかないと画面一杯にリアルな映像を撮る事が出来ない。



だから、撮影を何回も繰り返しているうちに、私自身は、少なくとも3～5mは、鯨から離れて身の安全をキープしているつもりだったが、“イマエダさん、あんなに、接近して怖くはなかったですか？”と、

あとで1mくらいの近さだったとガイドに云われ、そんな無防備な自分が信じられなかった。



おかげで、撮った映像の出来の良さが、比類のないものかどうかは別にして（笑）自分としては、これ以上リアルな鯨は、もう撮ることは絶対出来ない！と、確信出来る程の、そんな出来だった。（笑）



このあとオーストラリアのシドニー沖や、メルボルンの南に、さまざまなクジラを撮りに行く Around South Pacific の旅の手筈は整えてあったが、今回、体験した以上に、クジラに接近しながらの撮影は、もう不可能だ！もうこれ以上クジラに接近しながら撮影を続けるのは、シロウトの域を越す。私には、もう無理だ！危険すぎる！危険だ！もう止めよう！と、腹を括り、続ける意志は充分あったが、身の程を弁え、南オーストラリアでの「鯨を撮影する旅」は、中止する事にし、帰国することにした。

個人グループ
ツアーレポート

コモド 竜宮城クルージングツアー

(2013年8月31日～9月7日)

幹事＆レポート 026 良縁寺 悅子 レポート 172 島尾 愛子 690 木谷 治江



コモドのクルーズは6回目だ。足腰の悪い74歳のわたしでも十分にサポートしてくれるのと、あまり外れのないポイント、無人島に上陸したり、コモドドラゴンを観察したり、飽きさせないツアーや。そして唐沢さんのガイド、美味しい食事、楽しいことを並べればきりがない。

2013年はどうしても9月1日から潜りたかった。新月に向かう半月まわりなのだ。決定は新年会でしましょうとの事だった。私はチェンホー号チャーターの人数をそろえて、新年会に向かったが、すでに予定が入っていてダメだと言う…そんな馬鹿な、わたしは信じられなかった。8月なら空いていると、言われたが私も意地になっていた。9月1日から潜れないのなら中止にするつもりだった。9月1日に予約の方には申し訳なかったが何とか思いどおりに9月1日クルーズにこぎつけた。

結果は北エリアのキャスルロックが思いどおりに大当たり。壮大な魚たちのショーが展開された。

海が見えなくなる程の魚影にロウニン、カスミアジ、ウメイロ、ツムブリが突っ込み、捕食がはじまる。言葉では言い表せない状態のなかで呆然と立ち尽くす私だった。自然が相手のダイビング。全部のポイントが大当たりと言うわけにはいかないが、夢もう1度。まだコモドのダイビングは続く…

(026 良縁寺悦子)

コモドは何度来ても面白い。特に潮回りを考えて計画されたクルーズはすばらしい。今回もまた9月の新月に狙いを定めて出発。クルーズ船はチェンホー号。やはり帆船。クルーズの終盤にセールを全開に張ってその雄姿を見てくれる時は素敵なシルエットに歓声があがります。唐沢さんのクルーズでは、SS7, SS8などどれも似ている帆船に乗りますが、個人的感想ではチェンホー号が一番設備がしっかりしているように思いました。特に気に入ったのは、ブリーフィングがラウンジのビデオスクリーンを使って行われることでした。ゆっくりとしたところでポイントのMAP、見られる主な魚たちの写真などを見ながら説明が聞けます。シャワーもトイレも故障なく使えましたが、クルーズの途中で「雪隠詰め」事件があったりして、シングルユースを利用した人

が多かったので、お互いに時々安否(！？)を確かめた方がいいなどという話も出ました。ただ、洗面台がとても高く、私じゃなくてもあそこで顔を洗うのは容易ではないと思いました。 (172 島尾愛子)

総会の折、良縁寺さんと隣席になり、企画したコモドチャータークルーズにキャンセルが出てしまったの誰か行かないかしら?と。世界遺産のコモドの海に?コモドドラゴンに会える?「行きます!」と手を上げたのは良いけれど専業主婦の身としては海外ダイブは年1回位にと思っていたのに、今年2月、パリに行ってるし…帰宅後主人に幹事さんが困っていて、と苦しい言い訳をしながらそいそと支度を。

8/31成田発。16名中、初コモドは3名というリピーター揃いのコモドツアーの始まりです。成田→デンパサール着、ショッップの迎えの車でホテルへ。Aston Inn Tuban泊

9/1デンパサール→ラブハンジョウ空港→フローレス港よりボートでチェンホー号乗船、初めて乗る木造の帆船ですが中は広くリビングは居心地良く、船前方のデッキは各自番号付の器材置き、洗い場等、使い勝手良く配置されています。部屋割り、船内仕様の説明後、チェックダイブのブリーフィングは大きなスクリーンを使っての丁寧な地形、魚群、見所など名ガイドと名高い唐沢さんの説明は楽しく分かりやすく期待が高まります。4名1チームにガイドが付く安心、贅沢ダイビングです。



チェックダイブはサバ、クチル。

暖かく透明度良く、ニチリンダテハゼ、クエ、イナズ

マヤッコ、フォックスフェイスはヒフキアイゴに似た異種と教わったばかり、ガーデンイール他、もう書ききれません！

9/2 キャスルロック、クリスタルロック、パラダイスリーフ。

キャスルロックはバリ・トランベンで見たバラクーダが、小笠原ケータのイソマグロが、モルディブのナポレオンが久米島のギンガメが、他オールスター・キャストの魚達が右から左から卍ともえとなつて目の前に泳いでいるのです、婚姻色のロウニンアジのペアが何組も！ヨスジフエダイの華麗な群れも＜感嘆詞！＞連続の成程納得のコモドの海です。

9/3 キャスルロック、タタワクチル、バトウボロン、ピンクビーチ。

タタワクチルもキャスルロックに負けない大物の魚影の濃さに加えてツバメウオの群れやマダラタルミやアカモンガラの泳ぐ姿が可愛らしいポイントでした。ピンクビーチはナイトダイブです。定番のアオブダイの寝姿や珍しいヒシガニ、ミナミゾウリエビ。真っ暗な海中を白蛇が悠々と泳いでいました。

9/4 マンタアレイ、コモドドラゴン見学、ピンクビーチ。

マンタが見られるとエントリー。今迄のポイントとは大違い。透明度悪く流れの速さも、石垣島で見るのとは違うなあ～と心の中で愚痴が。ガイドさんの指示する場所で待つこと暫し、かなり大きな個体が頭上を舞います。ブラックマンタも見られましたが流石に元気者の私も岩にかじりついで写真どころではありませんでした。

浮上後、迎えのボートとの連絡が悪かったのか15分位、皆で固まって待ったのがとても長く感じられました。又、本船に戻る途中ボートが転覆していてBCだけが海面に浮いて、救助の船に向かってガイドがゲストを抱いて泳いでいるのに遭遇しました。ピックアップの時にバランスが崩れたのでしょうか？他人事でなく心配でした。

事故では無いのですが、前日Kさんがチームから離れてしまいました。パディを見失ったマニュアル通りフロートを上げ浮上し、先にボートにピックアップされていました。私も外国ツアーや小笠原に行く時、フロートは必ず持参しますが、BCに携帯するのを怠っていましたが改めて必要性を感じました。

2本目をパスし、4名が唐澤さんの引率でコモド島上陸、レンジャーの案内で珍しい植物を見ながら水飲み場に、コモドドラゴンが1頭＜1尾？＞これはワニ！ですねえ、こわごわ記念撮影を。ジャングル

を通り抜け、管理棟の前に2頭が歩き回っていましたが離れて眺めました。波打ち際にも出るというコモドドラゴンも見たかった、又、来なければ！…

ピンクビーチはサンセットダイビングで島尾さんが2700本記念、ピンクビーチを形作るパイプサンゴやニシキテグリの天然物を私は初めて見たのです。

ディナーでは島尾さんの2700本、池田さんのお1200本のお祝いを、お2人共素晴らしい記録ですね。大きなケーキを囲んで皆の笑顔がはじけました。

9/5 キャスルロック ギリラワチャネル

ダイビング最終日のお楽しみもキャスルロック！ギリラワチャネルは今迄の大物に加え、スミレナガハナダイやカスミチョウウオ、ハナダイ等、愛らしくカラフルな魚で彩られていました。好天に恵まれた5日間のクルーズダイビング無事終了。ディナーはアッパー・デッキで打ち上げパーティ、飲んで食べて踊って大盛り上がり。

9/6 チェンホー号とも今日でお別れです、紺碧の海に帆を張って浮かぶチェンホー号は映画の一場面のようでボートに乗り一周して雄姿を記念撮影しフローレス港に向かい帰路に着きました。昔の流行歌の一節に＜恋は何時でも初舞台～＞と言うのが有りましたが、＜海は何時でも初舞台～＞なのだと、リピーターの方々の笑顔に納得したコモドクルーズダイビングツアーでした。最高の舞台を見せて下さった幹事の良縁寺さん、唐澤ガイドさん、ツアー同行の皆様、有難うございました。 (690 木谷治江)



参加者

026 良縁寺悦子 038 川上 秋子 172 島尾 愛子
173 小元佳代子 197 宇留賀達雄 225 芳賀 幸子
357 佐藤 道子 390 金井 達雄 419 村上あい子
427 木村 満男 431 板川美恵子 450 竹内 千草
680 玉村 馨 682 渡里 喬 685 池田しのぶ
690 木谷 治江

(2013年11月18日～12月4日)

レポート 614 今枝 淳平



Socorro島をご存知でしょうか？バハカリフォルニア半島の先端にあるカボサンルーカスから、約450km南下し25時間余の乗船のクルーズでしか行くことができないサン・ベネディクト、ロカ・パルティーダ、クラリオンなど4つの火山島で形成されたレビジャヒヘド諸島Revillagigedo Archipelagoのひとつの中島で『メキシコ領のガラパゴス』と呼ばれる北太平洋の東端にある絶海の孤島です。

2012年11月、トドスサントスでカジキを追っかけた旅で一緒にいた皆さんと“是非行きましょう”と約束した旅でしたが蓋を空けてみると、SDCのヒロコさんとシンガポールからのケイコさんと私の日本人は3人だけ。あとはアメリカとカナダの方とメキシコのドクターの総勢7人でした。が、和気あいあいで、船の設備も、スタッフも申し分なく、しかも全員個室で贅沢で優雅な旅となりました。



大陸から遠く離れた“絶海の孤島”だけに、巨大なジャイアントマンタをはじめ、ハンマーHEADシャーク、ジンベイザメ、ガラパゴスシャーク、ホワイトチップ、タイガーシャーク、シルバーチップなど群れなす鯨たちや岩の間にウジャウジャと居たゴシキエビたち、ロウニンアジやギンガメアジの大群、コットンマウスジャックの群れ、ダイアモンドステイングレイ、可愛い固有種のクラリオンエンジェルフィッシュ、とてつもなくでかいブラックマンタ、パシフィッククレオールたちを猛追するでかいキハダマグロやカツオの仲間のヤイト、などなどが見られ、日々のブログに書ききれない程の充実したダイビングでした。

ダイブサイトについては、海底から聳え立つ巨大な根のLas Cuevas, Boier (San Benedict島)やThe Canyon、なかでも圧巻だったのは、海面のど真ん中に、火山の噴火で出来た猛々しい岩肌がそそり立つ

巨大な岩礁のRoca Portida。



エントリーと同時にギンガメアジ、カッポレの大群の間をホワイトチップ、シルバーチップシャーク、ガラパゴスシャークなどサメ達が次から次へと、まるで湧きでるように登場し、多種多様な魚たちが、めぐるめぐさまは、毎回エントリーの度に度肝を抜かれました。激流でナイトロックスの限界30mをついつい越してしまい残圧も毎回50を切ってしまう、そんな日が続きました。Portidaでは日に4本、3日続けて潜りましたが、もっともっと潜りたいと、思う程エキサイティングなダイビングでした。是非、又、再度訪れたいと願う旅であっただけに、繰り返してはならない次のような失敗談にも事欠きませんでした。恥を忍んでご披露します(笑)

他山の石となさって下さい。



オニイトマキエイの背中にコバンザメが、しっかりと吸い付き共生しているさまはよく見かけますね。でも、激流に流されないよう、大きなエイの背中で、可憐なクラリオンエンジェルフィッシュが、背中から流されまいと必死に泳いでいる姿を見る事は稀で、可憐な姿態の彼等の、その必死な姿は、痛々しくさえ思え、とても感動的！時には尻尾の方にまで流されながら、力を振り絞って、また、背面を頭部の方に泳

ぎついて寄生虫らしきものを啄(つい)ばんでいる。その感動的なシーンに胸を打たれた私は彼等をナントか撮影したい！とは思うものの、流れに逆らって泳ぐでかいオニイトマキエイと並走し、ビデオを撮り続けるには想像以上の泳力が要るのです。苦しい！う～ん、う～ん、大きな喘ぎ声をあげ呻きながら頑張りました！（笑）

だから、あの時撮った動画の迫力は、なかなかのものです（笑）。我ながらよく頑張りました！（笑）

マンタを夢中になって撮影している時、前を凄い群れのCotton mouth jackの行進が目に入った。これは凄い！珍しい！撮ろう！と、群れに近づいたら、ナ、ナント、その群れの中に可憐なクラリオンエンジェルフィッシュらしきヤツが、見え隠れつ、2、3匹、群れに遅れじとばかりに、必死に泳いでいる！地味なJackの群れと共に何故彼等が並泳しているのか？不思議でならなかった。これは、又チャンスだ！と、夢中になって群れの中の彼等を撮っていたら、驚いた事にソコロの海、固有の、可愛いトリガーフィッシュが一匹。群れに混じって往ったり来たりしている。こんなチビがこんなに広大な太平洋の海の中で何処でどうしてこの大群に紛れ込んで行動を共にし

ているのだろう？不思議だ！と、もうひと頑張りし追走して撮影を続けたが、息が苦しい！

もう駄目だ！ゲージを見たら、残圧が既に40を切っている！慌てて辺りを見回しガイドさんを探す。“暴走老人”の奮闘ぶり（笑）を（警戒して）見ていてくださいましたらしく。白いフィンを閃めかしながらガイドさんが飛んで来てオクトパスを差し出してくれ、こと無きをえたが一度ならず、撮影に夢中になって繰り返した、愚かしい行動は恥ずかしい限りです。

参加者 712 永峰洋子+他5名



個人グループ
ツアーレポート

奄美の“とめさん”と行ったモルディブクルーズ

（2013年11月16日～23日）

レポート 028 川上 秋子



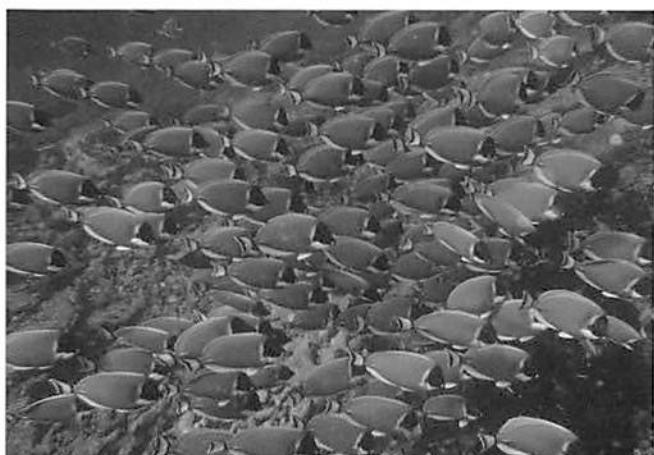
昨年11月にモルディブクルーズへ行ってきました。奄美大島のとめ＆永吉グループのツアーです。16名でした。クルーズ船はソレユイと伺い、即キャンセルしたいと申し出ました。なぜなら7、8年前にお世話になった船でそのときのガイドさんの印象が厳しく、二度と乗船することはないと思っていたからです。しかし、永吉さんから「今は違う」と説明して頂き、参加しようと決意しました。いざ乗船したら、前と全然スタイルが違っていて、スタッフも親切な方ばかりで嬉しかったです。グループも和気あいあいとしていて、大変楽しかったです。

私が一番印象に残っているのはナイトマンタでした。生まれて初めて見るナイトマンタに圧倒されました。海中にライトをあちこちへと照らし、明りをめがけてマンタが次から次へと回遊していきます。それはもう目の前ででんぐり返しになったり、まるでマンタのショーを見ているようで、興奮しました。

あまりにも夢中になって、カメラのシャッターを

引っこ切り無しに押し続けました。しかし、あとでカメラのデータを見返すと、なんと一枚もマンタのまともな写真が撮れていないのです。大変残念。ナイトの写真の撮り方をもっと播磨カメラマンに教わっていればよかったと反省しました。

また、スノーケリングでパウダーブルーサージョンフィッシュの美しさにみとれました。



西オーストラリア エスペランスツアー

(2014年1月15日～22日)

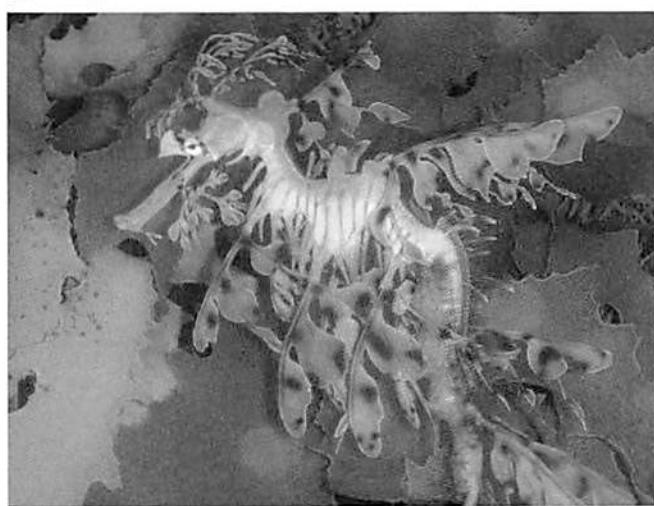
幹事＆レポート 434 百瀬 由美子 レポート ツアー参加者



434 百瀬 由美子

2011年秋の会報の表紙にリーフィーシードラゴンが載ったことがあった。その時から絶対『こやつ』を見てみたい！遭いに行きたい！と恋心を募らせていました。時期は？場所は？水温はどんな按配か？調べに調べまくる。

まず愕然としたのがビーチダイビングである事、それも唯のビーチではなくその場所に行くのに延々100m以上階段、坂道、岩場を歩くという。貪欲に潜り込んでいる人達の「本当に大変だったよ」のお言葉に駄目だ～～！遭いに行けない～～！悲しい～～！と悲嘆にくれていましたが「何とかなりませんか？」タンク運びの元気な若者チャーターして！！の再三再四のお願いが叶いました。(当然料金はUPです)しかし…聞きしに勝る大変さ！飛行機往復4日間、ダイビング3日間(1日2本)タンクは運んでもらったが他の機材は自分で運ぶ。リーフィーが隠れているポイントまでのシュノーケルでの水面移動の半端ない長さ(エアはリーフィーを探す為少しでも多く残しておかねばならない)水温20℃前後、潜水時間60分以上2mmのショートジョン+5mmのセミドライフード付きの重装備、でも…。でも遭えました～～!! ゆらゆらと揺れながら背びれをクルクルと動かしなんて優雅で愛らしい奴よ～～！来てよかったです。



おまけの話：ホテルはなくコンドミニアムでの100%完全自炊又は外食生活となります。お後がよろしいようで。

610 白松 礼子

1月16日羽田0:30発(シンガポール航空)シンガポール経由でパースに、更に乗り継ぎエスペランス17:45着。(羽田は深夜発、早朝着)20時間弱の移動の後、やっとコンドミニアムに落ち着き“じゃんけんほん”で、ベット獲得の上、やっとこ就寝。

★宿 コンドミニアムは3Rでファミリー対応してダブルベットやシングルベット、2段ベットをあわせると9名ぐらいは泊まれる。4人で我がまま気ままに3泊した。そこで毎朝のベーコン・トマトスープから始まり、オージービーフのステーキ、美味しい果物、ワインも揃った中々の自炊生活である。通常であれば、主婦は家を出れば上げ膳据え膳を好むがコック付きが叶わず、じゃないなあ～と喚きながらも日頃のささやかな？腕前が披露される。キッチンも4人揃って仕度に動き回っても余裕の広さである。宿は現地のタンクチャージの店の階上にあり、シャワー室も洗面所も快適である。ダイビングから帰ると洗濯機を回して広いベランダに干せて便利である。

★ダイビング 17日8:30出発、移動60分をオーストラリア西部の乾いた大地、塩湖、ダイビングである。シニア対応(有料の契約)で重い器材はALLガイド及び現地の助っ人が運んでくれるとの前宣伝。水やサングラスもダイビング直前まで手元にあると思ったが、どっこい“タンクのみの運搬”と判った。シニアには大切な水飲みもまま成らない状態で、水面移動の息切れをゼイゼイこなした1本目が終ったが目的のシードラゴンは「人見知り」で“初対面”は2本目に。しかし17日2本目と18日1、2本ともリーフィーシードラゴンは海草の中から突如視界に姿を結んでくれる。感激の海中ドラゴンショーである。4人のカメラが囲む真ん中で、ドラゴンちゃんはユーラユラと波に揺れながら、目はキョトキョト尾びれはピュラピュラ、4婆の包囲網の突破口を捜している。飽きるまで見ていいれる不思議空間。この形容できない“たまげた魚”は我らの心も揺ら揺ら限りなく魅了し和ませる。ドラゴンは動画に限る！と1日目に忘れていた動画を2日目は延々撮り続け満足の海である。ラッキーべイは片栗粉のような白砂でムギュッと足元に固まっていた。清浄な白と青の天上である。まさに天上なのである。19日は90分移動

後のウォートンビーチでのダイビング。晴天で最上の美しい浜辺に感激してイザ、イザのタンクスタンバイの瞬間、「エアが臭いです…のまさかの中止。「戻ってチャージしてまたペイに戻ります」に思わず“ドットの疲れモード”にヨタヨタ。宿に戻りチャージの間、3婆(百瀬・真鍋・白松)はいよいよの老化のせいか「意欲減退」の中止宣言。1人若者と化した勢さんは午後からのスタートにもめげず参加、3日のドラゴンに満喫して夕方帰ってきた。“良かったよ！両手にサポートで楽々、最高！”

★騒動1！ ダイビングの合間、キャンプ場併設のトイレを拝借。5mmのセミドライと3mmのショートジョンの2枚重ねの濡れ女の我らは、掃除人らしきオージーおっちゃんやオージー兄ちゃんの再三のクレームに戸惑う！使用後のトイレもペーパーで拭き、ネクストへの気遣いもしたし…次々待ってる金髪のオージーおばちゃん、お嬢さんに速やかに笑顔で交代もしたし…「うちら何も悪い事してないよ～」「なんや、なんや」英語達者は0人。互いに顔見合わせ「何いとんねん？」に対して、オージー兄ちゃんはおいで、おいででの手招きをして、モップで掃除せよと言てるらしい?? “へっ?!”拒否！断固拒否である。我らシニアを舐めてはいかんぞ！

2日目もラッキーベイキャンプ場のトイレ拝借の後に管理人らしきレーンジャータイプの兄ちゃんが“アテンション”をのたまつた…ガイドとのやり取りから始めて事の全容が飲み込めた。キャンプ場設置のトイレは使用料を払ったオージー達が優先である。海草おばさんが濡れたまま使用して床が濡れるとのクレームしきり。スーツを脱いで使用するか、床の水分をモップでふき取れの指令である。おーいそんな事、ガイドは最初に言ってくれよ！国際交流に水を差すだろうに…アボリジニを差別したように、アジア人のおばちゃんを差別するのかとファイティングポーズだったのに…でもサ、外国から遙々やってきた客を「お・も・て・な・し」する姿勢がみえないと感じたのはワタシ1人かなあ～

トイレ等管理する(掃除)担当がいるのだったら、人が居ない間、さっさっと床ぐらい拭くのがサービスじゃないかと…。でも文化・価値観は違うんだね、きっと。

★騒動2！ 最終日、デイユースで延長したコンドミニアムの鍵は17:00までに返せという割には約束の空港までのタクシーは待てども来ない有様。寒空の下、途方にくれたおばちゃんの怒り、判る？コンドミニアムのオーナーおっちゃんは「19:50の飛行機だから19:00でいいだろ！」(英語で言っているとか、誰か

の訳)とか言うんだったら延長も19:00が普通よ！自分達が帰る時間だから17:00に退出！なんてサービス精神まるで無し。エスペランスは殆んどの人が仕事を17:00に止め、自分の時間と家庭を大事にするとか。観光客への気遣いは無いらしい。お～～い！少しはジャパンの「お・も・て・な・し」見習えよ！まあ、日本も過剰な義理と人情で、身動きできない場合もあるけどサ…

★★そんな、こんなで今回も4婆参加の“エスペランスの旅”もワイワイヨイヨイと無事帰国出来ました。不思議ゾーンの不可思議リーフィーシードラゴン、ありがとうございます！

758 若佐 勢

3日目はウォートン・ビーチ。宿から車で1時間半。白砂遠浅で海平面のブルーのグラデーションが美しい。エアの異臭トラブルがありダイビングスタートは午後2時からで2本。駐車場からビーチまで歩3分ほど。水中で器材をつけてほとんど水面移動無しで潜るとリーフィーの好む海草が藪状になっている。水深10mぐらいで抱卵したリーフィーシードラゴンに出会う。水温は21℃。寒さを感じないのでんびりいつまでも眺められた。写真も撮り放題。2本目も同じ固体に出会う。オールドワイフの幼魚の群れが可愛かった。このビーチのトイレは水洗ではなくシャワーもない。しかし、それを補って余りある魅力的なポイントだった。読みの不思議な魚を一目見る為寒さに備えスーツを作り、初めてのオーストラリアへ。海は勿論のこと陸(オプションで動物園に)の生物も楽しみました。誘っていただき本当にありがとうございました。

734 真鍋 美智子

1月15日より海草の中優雅に泳ぐリーフィーシードラゴンに逢いにエスペランスへ。前回はフィルム写真の頃、今回はデジカメの良さを再認識しつつ、思う存分リーフィーと海中にて遊んで来ました。寒さは思ったより感じませんでしたが、1時間強潜るのはちょいと老体には厳しかったかな？日数的にもう少しいればパース等もゆっくり歩けたのではなかったかと…。

でも リー
フィーシー
ドラゴンに
逢いに行っ
たのですか
ら満足・満
足。



個人グループ
ツアーレポート

バショウカジキ カンクーンセノーテダイビングツアーエキシコ

(2014年1月29日～2月7日)

幹事 685 池田 しのぶ レポート 748 加藤 倭朗



イスラムヘーレスの沖合のバショウカジキをシュノーケリングで見る、セノーテを潜る、カンクーンでのダイビング(2日間)に加え、マヤ文明のチチェンイツァ遺跡をめぐるのが今回ツアーノルマだ。

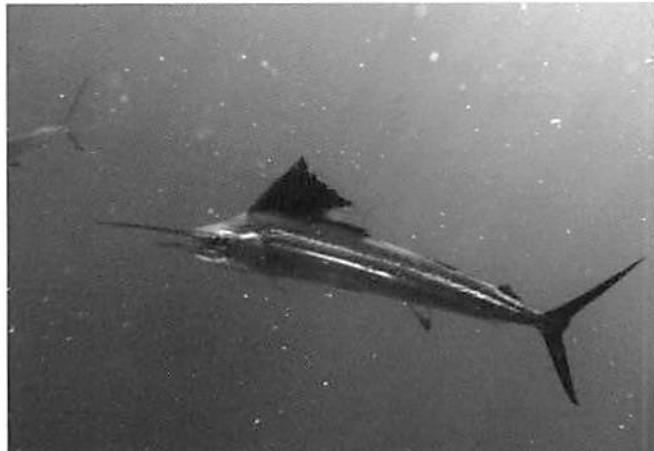
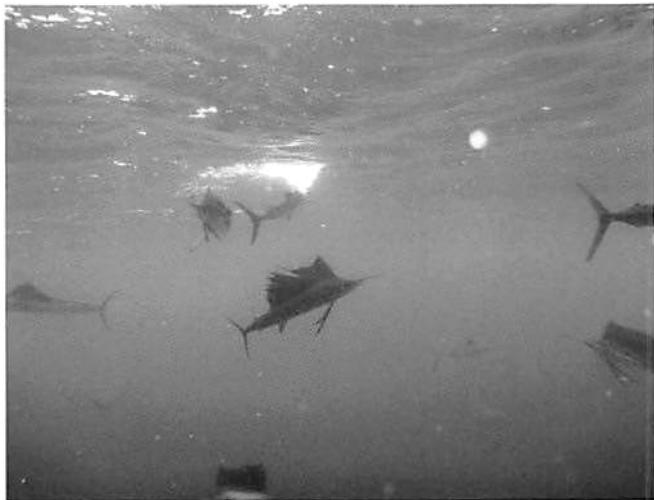
我が家を出発してから約22時間かけてエキシコ、カンクーン沖ムヘーレス島の小さなホテル、バヒアチャクチに到着。ムヘーレス島(女性の島という意味)は白砂のビーチが美しい細長い島。今回の参加メンバーは“呑み介”が圧倒的に多く、ほぼ毎日お酒の集いがあり楽しい時間を過ごすことが出来た。夕食後は連日、“バーしのぶ”が開店。ビール、日本酒、焼酎、テキーラにおつまみがずらりと並ぶ。



翌朝7時からバショウカジキツアーオン出かける。ボートで1時間ほど走ったあと2度ほど鳥山が見つかるがタイミングが遅れたためかイルカやバショウカジキは見えない。さらに30分ほど海上をクルーズすると又、鳥山を発見。今度は鳥の飛ぶ位置が低くどうやらバショウカジキらしい(イルカの場合、鳥の飛んでいる位置が高いとのこと)。鳥山をめがけて海面におりるとくっきりとバショウカジキの群れが見える。

そのうち数匹がこちらに向かってくる。尖った口先が至近距離に迫ってくると、ぶつかるのではとちょっぴり恐怖感が湧いたが彼らはすいすいと傍を泳ぎ抜けて行った。すごかった!

バショウカジキに出会うのに3日とか5日かかることもあるとのことで初日にメンバー全員がバショウカジキを真近に見ることが出来たのはラッキーであった。



翌日からは天候が悪くバショウカジキツアーオン中止。ムヘーレス島のカンクーン側の海でダイブしたり“イルカと遊ぶ”ツアーやジャングルツアーやエキシコダンスショーに行ったりした。私は生まれて初めてイルカと遊ぶという体験をした。特に面白かったのはイルカとの水上スキー。海面に浮いている私の両かかとを2頭のイルカが鼻で押し上げ、スピードを上げて泳ぎ始めると体全体が水面に浮きあがり、まるで水上スキーをしている時のような格好で水上を走る。まことに爽快!人は何もしなくとも2頭のイルカが鼻をうまく使ってバランスを取ってくれるので皆上手にイルカの水上スキーを楽しむことが出来た。

その日の夕食は、アルゼンチンレストランでステーキ。美味しいがボリュームが多く2人で一人前(1ポンド=450g)でも多すぎるほど。でも巨漢125Kgのガイドのナッシュさんが体重を気にしながら喜んですべてを引き受けてくれた。



そのうちライブ音楽に合わせダンスが始まり、我々も率先して参加。レストランは大いに盛り上がり、喜んだ店からはドリンクのサービスがあったほど。我がメンバーは物怖じなどという言葉とは無縁の人が多いらしく皆、ほかのレストラン客と輪になって踊っていた。



2月3日(月)早朝6時ごろホテルを出発しフェリーでカンクーンに。その後マイクロバスでそのままチエンイツアのピラミッド遺跡に向かう。途中朝食としてナッショさんおすすめのサンドイッチ店で大きなクロワッサンにハムやチーズを挟んだやつをこれ又2人で一人前ずつ注文。なかなかの美味であった。2時間ほどガイドの案内でマヤのピラミッド遺跡を見学。夕方カンクーンのホテル、クリスタルカンクーンに到着。夕食は近くの日本料理屋。みなさんご満足のご様子であった。

翌日2月4日(火)は待望のセノーテダイビング。“ドスオホス一二つの目”というセノーテで2ダイブ。セノーテ内は鍾乳洞のような景観が続き洞窟内の水は透明で小さな魚もいる。

ライトに照らされた小さな魚の大きな黒い影が水中に映えるというのは不思議な景色である。シュノーケルを楽しんでいる人も多い。ガイドについて



一列で泥を巻き上げないように45分ほどダイビング。太陽の光が差しこみ光のカーテンとなっている幻想的なスポットもあった。2度目のダイブでは、途水上に浮かびあがり天井近くを飛ぶ蝙蝠を観察。

2月5日はフリーの日で、夕方は近くの海鮮レストランでラストディナー。ウェイトレスが頭にカクテルグラスを何杯も重ねて上手にバランスを取りながら運んでくる。ウェイターはモヒートやマルガリータがなみなみと注がれた大きな球状のグラスをトレーに乗せ、これも頭で運んでくる。かなりの重さを頭で支えているはずだが、それぞれ無事注文客たちに手渡され、そのたびに皆歓声を上げ拍手しテーブルの周りに踊りの輪ができる。レストランは大盛り上がりであった。もちろんSDCメンバーもその中心にいる。相変わらずのびのびと行動するわがメンバー達であった。

本当に楽しく充実したツアーであった。最もダイビング経験の少ない私に気配りをしてくれた皆さん、行動能力、管理能力の高い女性陣、特に幹事のしのぶさん、大変面倒な会計を務めてくれた友枝さんに感謝します。おかげさまで5名の男性メンバーにとっては気楽に過ごせた10日間ではありました。

参加者

356 栗本はるみ 390 金井 達雄 419 村上あい子
603 氏家 友枝 624 阿久津省一 682 渡里 喬
685 池田しのぶ 712 永峰 洋子 748 加藤 倭朗
768 新井 成美 769 新井 純枝

フィリピン 2リゾートツアー

(2013年12月2日~13日)

幹事&レポート 005 大隅 楠夫 レポート ツアー参加者



2つのリゾートをはしご

今回はフィリピンの2つのリゾートをはしごしました。セブマクタン空港に5日夕方空港到着後ピーコムの宿で1泊して翌朝トロパラへ向かいます。着いた日にトロパラへ向かうと深夜に到着というのがいつもの流れなのですが、翌朝からのダイビングの日程が少々きつくなってきたので、今回の日程を試してみることになりました。6日の昼頃トロパラリゾートへ到着、午後から4日間のダイビングになります。トロパラは知っているいらっしゃる方も多いと思いますが、ガルーダ五十嵐さんがガイドしているリゾートです。10日朝食後ピーコムリゾートへ移動します。ピーコムリゾートに先に入っている小嶋さん、福田さん、高木さんと合流して3日間のダイビングを加えて13日の早朝帰国になりました。ピーコムリゾートから空港までは車で10分ほどなので、利便性も考えて今回の日程となりました。

2回の感激

128 平野 昌子

今回のトラパラ、P-COMツアーハイアットの日程が思いがけず私の誕生日と800本が重なり2回も祝って頂いた事です。ショップからはケーキと名前入りカップ等、仲間の人達からはワインで祝って頂き、サプライズとしてマフラーをプレゼントされ長い人生一番感激しました。皆様ありがとうございました。

楽しい遊びが出来るのも、ホームグランドであるショップ、そして気心のわかった仲間がいる安心感があるからです。後期高齢者の入り口に立ちましたが、もう少し好きな海を自己管理で納得いく様に楽しみたいとおもっています。今回はショップの皆様はじめ仲間の人達に感謝、感謝のツアーハイアットでした。



ブルーバードリボンゴビー

006 大隅 照子

リロアンで泥ポイントへ行きました。1人でもしくじるとモウモウと泥が巻き上がりカメラどころではない、その上リボンゴビーはシャイで直ぐに引っ込んでしまう。2つのことに神経を使いながらのダイビングは緊張の連続…これがまた良い(笑)。



泥から湧き出した宝石のようなリボンゴビー、一度見たらはまりますよっ！

泥ポイントもなかなかのものです。「変態ダイブ」と言わざるもやつてみる価値はあります。

徘徊

738 木藤 伸行

海の中のレポートはみなさんにお任せして。ツアーハイアットでの私の楽しみは朝夕の徘徊です。今回は2か所の掛けもちで自然の中、街の中とても楽しかったです。特にアクションカムを手に持って撮りながら歩いてみましたが子供目線の映像がとても新鮮でした。

浅く明るい海ならば結構ましな動画も撮れるのでアクションカムが陸でも海でも活躍した今回のツアーハイアットでした。



ピーコムツアーハ参加して

302 福田 孝子

マクタンでのダイビングは濁った海で小物撮影という印象がありましたが、今回行ってみて印象が変わりました。偏見を持たず、行ってみるものですね。海は透明度15mくらい、「案外きれい!」、生物は「思っていたよりずっと豊富」でした。潜った海もいろいろでしたが、藻場の生物探しが印象に残り、「こんないろいろな生物を育む藻場は大切にしなければ…」と切に感じました。初の生物としては5mmほどのシムランスシュリンプ、撮った写真はなかなか綺麗で可愛いエビでした。(写真館を観て下さい)

これはモンハナジャコ



P-COMのホテル

125 高木 元子

パライソ気に入っています♪料金考えたら豪華さを望むのは無理ですが、

- ①必要なものは揃っています。
- ②施設内清潔に清掃行き届いてます。
- ③夕食は何品もの大皿料理を皆でいただきますが、それが美味しいです。
- ④スタッフ皆気持ちよく、言葉が通じなくたって居心地良いです。



初めてのMACTAN-PCOMの印象 756 小嶋 啓行

以前TV番組でP-COMの紹介が少しあり、水中

映像にハマったダイバーへのケアを売りとする記憶があったので憧れがあり、ツアーに割り込み参加しました。WEB上で謳っていた「ダイビングは目的では無く手段」というフレーズは全く同感であり、写真愛好家として(絵にも書けない美しさ)を水中に求める自分と共感できるものです。

潜るとMACTANは泥海との偏見はすぐに解消し、ヨシさんに指導されたのかガイド達が熱心に次から次へと生物を見せてくれ、小物だけでなく鰐の渦巻く大群などカメラ派には楽しい限りでした。マブールから移ってもより小さな世界に魅力を探究する水中写真の奥深さを学べると思います。リゾートは食事が美味しくボリューム満点でダイバーにぴったりでした、ただプールのせいか蚊が多かったようです。



はしごツアーハ関して

005 大隅 楠夫

セブにはカメラ派がよく通うショップが2つあります。1つはマクタン空港から近いP-COM、もう1つはリロアンのトロパラです。トロパラは空港から3~4時間かかるので、今まででは行きにトロパラに着くのが23時頃、出発は朝の3時とつらいものがありました。そのため今回のようなはしごツアーを行いました。

昨年12月15日から成田ーセブ便が1日2便に増え、また毎日運航されるようになりました。増えた便は、行きが19:25発、23:45着、帰りが13:00発、18:25着です。トロパラの場合でも帰りの午後便を使えば、はしごをしなくてもツアーが組めるようになります。

お世話になったリゾート&ショップ

マクタン・クラブパライソ&ピーコムドリーム
リロアン・ヴィラ トロピカル パラダイス



本当に秘境だったアロール～マウメレ・クルーズ(インドネシア)

(2013年11月22日～12月1日)

レポート 172 島尾 愛子



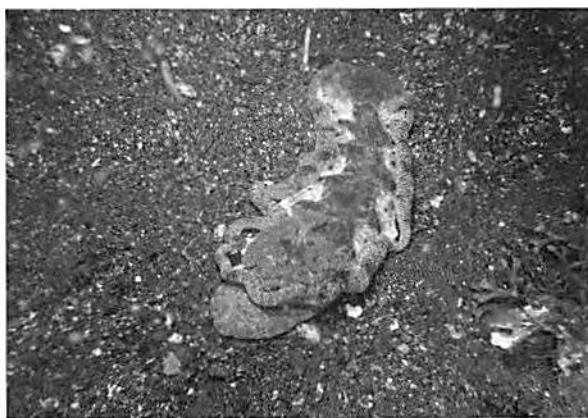
SDCではお馴染の方も多い唐沢さんの渾身の秘境シリーズの一つに行ってきました。

アロール？マウメレ？こんな地名、普通の地図帳には載ってないだろうと思ったら、ちゃんと皆ありました。マルメレはコモドクルーズ船に乗るラブハンバジョーのあるフローレス島の東の端にあります。いつも近く(?)までは行っていたのです。

成田～バリ・デンパサール(1泊)～東チモール・クパン(1泊)～アロール。1日1便だったりして短い飛行距離だけど、目的地にたどり着くのに2日かかって、やっとチェンホー号に乗船です。

乗船してみればお馴染のクルーたちが出迎えてくれてなんだかとてもうれしい。

まずチェックダイブ。それがまたいきなりナイトダイビング。もちろんゲストによってはパス。私も少し迷ったけどインドネシアの海のナイトダイビングはいつもおもしろいので思い切って潜ってみました。ミカドウミウシが何匹もいて、スペニッシュダンサーといわれる美しいヒラヒラを出し惜しみながら少しだけ見せてくれました。もっと踊ってほしいとガイドが少し刺激をあたえても今日は興が乗らないらしくてフランメンコダンスは踊ってもらえませんでした。クルーズ中3回のナイトダイビングをしま



したが、貝の収集家の垂涎の的かもしれないゴールデンカウリーが砂地を動いていたり、やはりインドネシアのナイトはなかなか面白い。

昼間の砂地ではリュウグウベラギンボの繁殖行動に出会い、ヒレを一杯にひらいて集団で追いかけっこをしている様子はなかなかの見ものでした。

そして島と島の間で潜るので潮見が大事です。

「いつ潜るの?」「今でしょ!」と云った感じで予定

がいきなり早まったりすることもしばしば。浅瀬の棚に魚とり用の大きな竹の籠が沈めてあり、その中にはクマザサハナムロやアカモンガラがつかまっていて、初めて見る光景。籠はかなり大きい。



魚が一杯入ったらどうやって引き上げるのだろう、などと余計な心配をしてしまった。

4日目の1ダイブ後に今回の目玉の一つであるレンバタ島のラマレラ村に上陸。



今もマッコウクジラの突きん棒漁をやっているそうだが、かなり危険らしい。村には突きん棒を持ったキリスト像があり、その前にはクジラの骨が供えてあった。





船もそれほど大きくはないし、銛で仕留めたクジラをものにするまでにどれだけの時がかかるのだろう。

村の近くでは、船の上で休憩中にイルカの大群が近くを通るのを何度も見かけ、私と別のグループは

幸運にもダイビング中にイルカに遭遇したそうです。

もう一つの目玉は活火山島。その目の前に停泊してダイビングです。火山の噴火を目の前で見たのははじめてでした。ダイビングの用意をしているといきなりセスナ機が飛んで来たような音がして、それが噴火の音でした。溶岩は出ていませんでしたが火の粉混じりの真っ黒な煙が空に上がって行く様子はすごかったです。



そしてその土石流が流れ落ちていった真下の海に潜ったのです。



日本だったらきっと禁止区域なんて言われたでしょうね。噴火した岩がゴロゴロしている暗い海でしたがヤギ類があちこちで定着をはじめていて、キュウセンフエダイ、スミレナガハナダイなどがいました。

セーフティ
ダイビング

これは便利グッズ!!

699 岩崎 八重子



100均編

★たためる水タンク



アウトドア用ウォータータンク2L位の少量用タンクなのでダイビング中ボートの上で顔や髪、カメラにかけて使います。同じものを2個用意して日当たりの良い所に出しておけば、お湯になっていますので体にかけると暖かくて快適です。

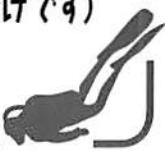
★石鹼ホルダー

風呂や洗面所で石鹼を載せるホルダーで両面が吸盤になっています。これを適當な大きさにカットしてカメラのポートの保護に使っています。撮影する時はカメラの横に張り付けます。ただ、取れやすい紛失防止用の紐が必要です。



(2013年12月11日～18日)

レポート 172 島尾 愛子



オーストラリアは孤立した大きな大陸だけあって、つくることなくいろいろなダイビングサイトがあります。今回も賛助会員のワールドツアープランナーズのHPにあった「的場と行くサウスウェストロックス」というツアー紹介を見て、サメ・ウォッチャーとしては「いかざーなるめえー」と参加することにしました。

ツアーに行く時はまず地図で自分が行く場所を確かめるのが、始まりの楽しみです。ところが私が持っている地図や本ではみつからない地名だった。シドニーとブリスベンの中間あたりにあるらしい。ツアーの日程表が来て初めてシドニー経由コフスハーバーということがわかり、少し気持ちが落ち着く。

まず初日にちょっとした失敗。シドニーで国内線ターミナルへ移動し搭乗ゲート前の椅子で待っていたがふと気がついてゲートナンバーを確かめたら変更になっていた。あわてて移動したのだが、搭乗締め切り時間を5分すぎていた。こうなったらオーストラリア人は頑固だから絶対に乗せてくれない。でもチェックインカウンターで次のフライトのチケットをあっさり発行してくれてほっとした。アナウンスはあったのかもしれないが何しろ英語ですから聞き逃してしまったのでしょうか。ここで初めてコフスハーバーはシドニーから1日に何便もでている有名なリゾート地であることを認識。携帯で、「We」の遠藤さんに連絡がとれて、コフスハーバーに迎えに来るショップのスタッフに事情を伝えてもらうことが出来てほっとした。



コフスハーバーの空港から車で1時間半ほど南に

くだったところにサウスウェストロックスの街があり、そこに私たちがお世話になるサウスウェストロックス・ダイブセンターがある。

ダイブセンターの2階に合宿所のような場所があり、5ベッドルーム、共同のトイレ、シャワー、キッチン、リビングがある。完全に自炊だ。



ランチかディナーは歩いて15分ほどのダウンタウンのレストランで食事。その帰りにスーパーとりカーショップで買い出しをする。ゲストは男女合わせて5人だったが、みんな結構上手に食事作りをこなしてくれて、いちばん働かなかったのは私かもしれない。

ダイビングポイントはショップから50分ほどの所にある港からボートで15分くらいの所にポツンとあるフィッシュロックという小さな岩のまわり。



ボートはダイビング機材を載せたまま毎朝ショップから車で運ぶ。初めてのスタイルなのでとても興味深かった。



黒い火山灰で出来た砂地にサンゴの根が点在する
景観は白い砂地とはまた違った美しさがありました。



サンゴも豊かで、ピンク系のソフトコーラルもとてもきれいででした。

この海にいるサメは2種類。小笠原でお馴染のシロワニ(サンドタイガーシャーク)とウォビゴン。



最初のダイビングからじっくりとシロワニ観察
が出来るというより、行く前までは小笠原のように
ケーブの中に溜まっているのかと想像していたが、
岩の周りに居付いているようだ。アジの群れに囲ま
れてうろついている。ダイブタイム60分と云われて
最初は「しめた! じっくり遊べる」と思っていたが
水温18~20°Cのなかで日本人はそんなに耐えられ
ない。2本目からは「30分で安全停止」とお願ひす
ることにした。ダイブタイム35分くらいになるとガ
イドが私の方を見るので、いそいそと寒いぞサイン。
エキジットしてからみんなにグッドタイミングでし

たよ、なんていわれて、早く上がるにして感謝さ
れることはあまりないので、にんまり。いつも5~10
匹のシロワニが鋭い歯を見せて強面で泳ぎまわって
いるが、おとなしいサメなのでそばによって撮影し
たり、一緒に回ったりできても面白かった。



岩にはケーブがあるのだが、人一人がやっと通れる
くらいの幅しかない。中にはウォビゴンやロブスター
がいたりするが、通り抜けて反対側にでると、伊豆
でよく見かけるが、色が違うと言った感じの魚たち
が群れをなしていて、これも面白い。



岩の反対側の方が流れが強かったりして、コ
ーナーを回りこむ時はグリップが必要だったが、岩か
らあまり離れなければ外洋のうねりを感じる程度
だった。これで水温さえもう少し高ければいうこと
なしだったのに。日程表では午前中2本になっていたが、
この冷たさを知らないうちは、午後からもう1
本潜れないのかしら、と秘かに思っていた。でもと
てもその気にはならない海だった。エスペランスで
リーフィーシードラゴンを見た時の寒さを思い出
した。フィッシュロックのウォビゴンはラジャアンパット
のそれと模様も鰓の数も違っていたが、普通にあ
ちこちに寝そべっていた。

今回のツアーは「We」の的場さん(モルジブのア
イランドサファリロイヤルのガイド)が行ってみたくて企
画されたツアーとか。私は初めてお会いしたが、
SDCの総会にも来られたこともあるそうだ。モル
ジブではどんなガイドをするのだろう、と、今度いっ
てみたくなった。

モアルボアル・何故か来てしまう海

(2013年12月17日～22日)

733 林 賢子

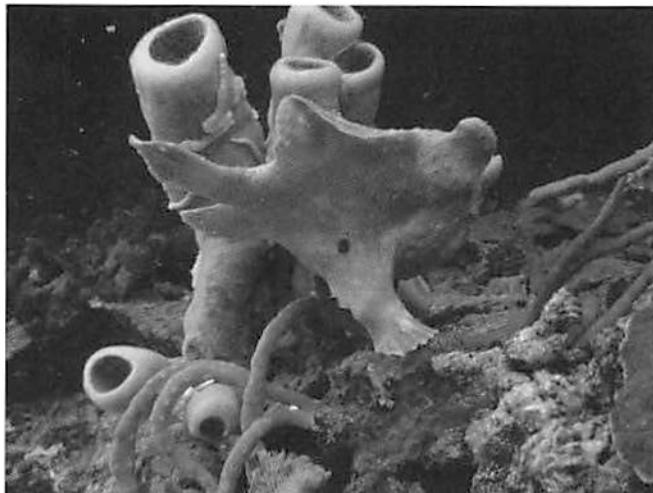


この頃何か調子が出なかったり、気分が明るくなれなかったりすることが続いたりすることってありませんか？そんな時に私はモアルボアルに行くのです。調子を整えるための、または自分にご褒美を挙げるような気持ち（実際にご褒美をあげる様な事はなくても）で、気のおけない仲間たちと。

モアルにはエメラルドグリーンの兼多君が、半ばあきらめ顔で待っていてくれます。今回はセブ空港まで直々のお出迎え。「運び屋さんまでやるようになったの」という私に、「たまたまですよ！」。…ここに来ると、帰った後で魚図鑑を見たくなるのです。次々に紹介される魚は、私の小さな魚世界を風船がいびつに飛び出るようにあっちでブー、こっちでブーと膨らんでいくのが感じられるからです。

今回は私がダイビング初期から付き合ってもらった大先輩が、ダイブ歴30年を超すにもかかわらず、海中でジンベイにあったことがないという事を聞き、モルディブのジンベイでは本人も周りも疲れるから、オスロブトリップを1日加えてジンベイを堪能してもらう目的で計画しました。

到着した翌日は近場で3本、飛び込んだ途端にリングアイジョーフィッシュと目があってびっくり！トウアカクマノミにホルトハウシュリンプ、セジロクマノミにオトヒメエビ、ヤノダテハゼとランドールシュリンプ。タイマイにアオウミガメ。バーチックダムゼルの幼魚と成魚。でも枝珊瑚の隙間から青く広がる空？海面が見えるトンゴサンクチュアリの枝珊瑚が、踏みつぶされたように山になっているのを見て、フィリピン台風のすごかったことを見せつけられました。



マンジュウイシモチが入り込める隙間がないので、枝珊瑚の上でうろうろ。

2日目は待望のトリップです。朝6時半から1時間半かけてサンタンダーに向かいます。ジンベイは食事に忙しく、あまり私たちに興味ない様子でしたが、初めてのメンバー達はあっちこっちに動き回り、記念の集合写真もままならず。そのうち長いジンベイの尾ひれを気にしながら、オハグロツバメガイを虫眼鏡で観察です。食事を終えたジンベイが帰宅するのを皆で見送ることができ、船上で感激の溜息。

2本目はスミロン島サンクチュアリ。「クマノミ全種見たいですか」という兼多君のサービスに全員「いいえ！」。でもスペインチークとクラウン、ハナグロチョウウオ、ミズタマハゼ、ニシキヤッコのヤング。でもいつもの透明でとろけるような水ではないのです。もっといつもは気分が良いのに。これも台風の後遺症？それとも時期的なもの？



3本目はリロアンのイラク。

ハナヒゲウツボが次々です。黒いのも青いのも。静かに吠えているもの、今にも跳びかかりそうなもの。ベニカエルアンコウ、クロホシハゼ。流れもそれ程なくラッキーでした。帰り道モアルの市場に立ち寄り、フルーツとチキン丸焼きを買い、ホテルで乾杯しながら食べましたが、お腹がいっぱいになり結局夕食は抜きになってしまいました。

3日目はペスカドール島です。名物ともいえるイワシのカーテンは陸近くに移動してしまっているとの事で、イワシのいないペスカドールです。でも私は明るいペスカドールが好きなので、問題ありません。

入った途端若干のダウンカレントに。モアルボアルでハナダイが何種類もいることを知りました。スジハナダイ、メラネシアンアンティアス、アカオビハナダイ(4日目)。図鑑で確認したくなりますよね。いつも岩陰にいるネズミフグが胸を張って中層を泳いでいます。

私が最初のマダラタルミのヤングがあちこちにいます。2本ペスカドールで潜り、3本目はサンセットダイブです。いきなり遠くの方の黒いもやもやが気になります。イワシです。でも目的ではないのでスルーリー、我慢して暗くなるのを待ちます。前回よりニシキテグリが少ないようです。「人間はつまらないことに興味持って…、ほっといてよ」って言いたいどこでしょう。でもしっかり写真撮りました。フラッシュタイミング良かったです。



400本の記念ダイブメンバーのために、ショップから大きな果物かごがプレゼント。明日船上で食べよう大喜びです。

ダイビング最終日はボボパライソ。ハゼ好きがメンバーにいます。ニュウドウダテハゼ、ブルーバードリボンゴビー、フタホシタカノハハゼ、シマオリハゼ、テンツキチョウウウオまで。

最終ダイブはなんとハウスマーブル。「ええ！」と思



いましたが、行って見てびっくり。

陸近くでもイワシカーテンはカーテンでした。カーテンをくぐりいきなり25m下げたところで、小さなウミウチハに赤いデニスピグミーシーホースが3匹、イソバナカクレエビまでいます。それからゆっくりイワシ観戦です。

オニヒラアジ、イソマグロ、スマ、メアジ等…イワシ様々です。



ハシナガチョウウオ

岩陰からイエローテールブレニーがちょこっと顔をだし、砂地でしか見られないハシナガチョウウオまで見れて感激です。

もうイッパイデスといった感じのモアルを午後2時頃出発して、セブ市に移動。昼の移動は市内の渋滞に巻き込まれないようにと念じながら、5時半頃ラディソンブルーホテルに到着。ここは石川さんのマラバスクワツアーで宿泊したことがあり、その豪華な夕食バイキングを記念ダイブお祝いと忘年会と反省会をかねて利用しようと欲張り宿泊です。

最終日の夕食なんて皆さん同様、ワインボトルを3本あけ、反省しているのか煽っているのか判らないことをいいつつ、いつの間にか、次回のモアルツアーペリオードを計画している有様です。

朝7時のフライトのためホテルのランチボックスを受取り、ホテルのロビーでそれを食べてしまい、無事飛行機へ。

成田に着いて、目覚まし代わりに使っていたiフォーンをホテルのサイドテーブルに置いてしまったことに気づき、成田からSTWの阿部さんに電話。家に到着したら、阿部さんよりホテルに連絡して、送って下さる確認取れたとの連絡。そして私のiフォーンは無事手元に帰ってきました。とんだお土産付のダイビングツアになってしまいました。

(2014年1月20日～2月3日)

240 山本 伸子



昨夏オルカに出会えるものと決め込んでバンクーバー近くの湾に出かけたがかなわず残念な思いを引きずっていたところノルウェー北極圏で天空を舞うオーロラとオルカに出会うことができると聞き何もかも放り出し出発した。

目的はオルカ、これに会いたい！ オーロラもフィヨルドの絶景もできたらクジラもと希望をいっぱい並べた。「観れますよ、ホテルからすぐの湾内に毎年来てるから。でも1月過ぎると南の方に下がって行く。」とコーディネイトを頼んだ旅行代理店の返事。



北欧はオーロラも晴天率ではカナダに比べれば下がるとの前情報。ならば確率をあげればよいとサファリの可能日とオーロラチャンスを目いっぱい組んでもらった。オスロ経由でトロムソに夜到着。この地は10年以上前来たことがあり、日本からのツアーも多く出ている場所だ。しかし星が街中では見にくいようで、ツアーはオプションのバスツアーを組んで1時間ほどのカントリーサイドのソマロイまで出かける。(2時間ほどで帰って行くが)そのソマロイで2泊3日をとった。

日中は潮を噴き上げるザトウの親子とオルカの家族、夜は3晩オーロラが舞った。2日間2回申し込んだサファリはもう南に下り始めてるから今日がラストと1日だけになった。もういないかと心配したがあちこちで潮が噴き上がる。ニシンの群れがザワッと泡のように浮き上がりいきなりザトウの親子が上がってしばらくするとオルカの家族が4～5匹、ガイドがニューボーンベイビーと指さす子はなるほど小さめ。しかしオルカの大きさと美しさは息をのむほどだ。そんな光景がボートの周り四方

で見られた。失神したニシンが浮いていたりもした。



ティスフィヨルドではホテルのマネージャーがオーロラが出始めると撮影のため車を出し海に面した暗い道路を走ってくれる。家もあまりない細い道だ。

第二次大戦時この道はフィヨルドに入るドイツ軍に抗戦したところだと説明してくれた。メキシコ湾流の影響で不凍港のナルビクもドイツ軍との激しい戦いで多くの犠牲者が出て関連のミュージアムがあり立ち寄ったが前回も今回も冬でクローズだった。

オルカツアーは途中車ごとフェリーにも載っての3時間以上のドライブ、メルヴィルの「白鯨」の舞台となった場所らしい。後で地図で調べ移動の距離にびっくりだ。場所はアンデネス。遠いところだった。はるばる行けたのもうれしく楽しかった。ここでもオルカの家族とクジラが潮を噴き上げ湾内をまわっていた。ゾディアックに鞍馬のような椅子があり世界中からクジラとオルカ目的で来てる。ロシア人とコロンビア人のカップルと車がいっしょだった。

他に2泊とったハムンイセンヤ:センヤの岬とい

う意味らしいがここもまた夜はホテルのテラスからオーロラ。他に明るさが届かない岬の先にライトハウスがあり暖房、飲み物付きの観測用ロッジもある。すぐ前の船着き場からは15分～20分の湾内でニシンを追い上げるクジラの家族とオルカの家族がみられる。

サファリはフローティングスーツ、帽子、靴と防寒具はレンタルでツアーの料金に入っておりそれを着こんでボートに乗る。

宿泊キャビン横の丘に案内されガイドが指さすところにニシンの群れが泡のように湧き空からは鳥の群れが突っ込み海面にはオルカの家族が頭を出す。まるでアリューシャンマジックのミニ版だ。ここセンヤのサファリボートではロシアとの国境に近いキルケネスでダイビングショップをしているダイブマスターといっしょだった。サファリ中ドライに着替えてデモンストレーションをした。



キルケネスのダイブマスター

オルカは危険じゃない？ オルカはザトウの子供を襲わないの？ と心配で聞いてみると「ノルウェーでは人間を襲ったレポートはない。君も自分のドライがあればシュノーケルできるしダイビングもできるよ。ニシンの群れの中にいて下から上がってくる大きな口の真上にいれば保証はしないけど」と笑いながら言わされた。実際ダイブマスターは泳いだり追いかけたりはしないで浮いていた。フィヨルドでは豊富なニシンでオルカもザトウも同じプレデターとし



てこの海で共存しているらしい。

私はボートが小さいと聞いていたので水中用のニコンも機会があれば手を突っ込んで撮ろうと持参していたのでよかつたら使ってと図々しく頼んでみた。

追い上げられたニシンが線状に逃げ回り下から徐々に上がって来るザトウが数枚、遠目ではあるが写っていた。クジラの声もブオーっと聞こえる。

水温は3°C、寒かった？と聞くと彼はいいやと首を横に。シュノーケルは大嫌いだが見てみたいなあ、水中で。事前申し込みでドライのレンタルも用意してくれダイビングも可能だそうだ。

海と空のほかにノルウェーにはナショナルシーネリールートというフィヨルドを見下ろす絶景の場所に建築アートがあった。陸路はそのコースも入れてもらった。他にフィヨルドの中で景観は一番素晴らしいと聞くトロムソからスヴォルバーまでの一泊を



沿岸急行船にも乗った。船からの眺めは素晴らしく7階建ての船内をカメラを抱えて走り回り正直疲れた。でもじっとしてはいられない景色なのだ。日の長い夏の船旅の素晴らしさが想像できる。

オスロでは生誕150年と言われるムンク関連、バイキング、民族、フレーム、コンチキ号等いくつかのミュージアムをオスロカードを利用して歩いた。

市内は公園に水をまいてのスケートリンク、スキー板を抱えて市内を歩く人もいて冬を目いっぱい楽しんでいる。

オーロラは7晩。オルカとザトウの家族は3か所、アンデネス、センヤ、ソマロイと3回ともヒットして思えばラッキーな旅だった。

冬の北極圏は日が昇るのは遅く暮れるのは早い。3時半ごろから太陽が惜しむように投げかける夕日は茜色、暗い赤の空は息をのむ美しさでその中にザトウの尻尾が染まるのを観ていたボートの男性が溜息のように呻くように小さく「Oh,,,beautiful,,!!」とささやく。声も出せない美しさ、同じ思いだった。



1. はじめに

魚の生態観察でハゼの生態をじっくりと行うのが好きですが、今回は、仲良しペアのアカハチハゼの「オシドリ夫婦」ではなかった、「アカハチ夫婦」振りを紹介します。

2. 名前と特徴

属スズキ目・ハゼ科・クロイトハゼ属に所属し、和名は「アカハチハゼ」、英名は「blue-streak goby」と呼ばれています。

顔は黄色(特に口の周りが鮮やかな黄色)で口元からきれいな水色のラインが左右1本ずつ胸鰓の前まで伸びています。

いつも思うのですが、和名は何故そのような名前が付いたのかが良く分からぬ場合が多くて困惑しています。幾つか説があるようですが、生きている時は頭部が黄色で体は乳白色ですが、死んだら赤くなることから、その状態を見てアカハチハゼと呼ばれるようになったようです。

昔は、現在のようなダイビング器材が無かったため、名前を付ける魚の研究者等が海の中で直接観察することが出来なくて、漁師が捕って、港に陸揚げされた死んだ魚を見て、付けたものと思われます。しかし、私(アカハチハゼ)としては英名のように元気に生きている時の特徴を素直に表す名前にして欲しいです。今度、変な名前が付いている魚達が一致団結して、改名を訴える運動を展開したいと思っています。その際は、ダイバーの皆さんも応援して下さい。

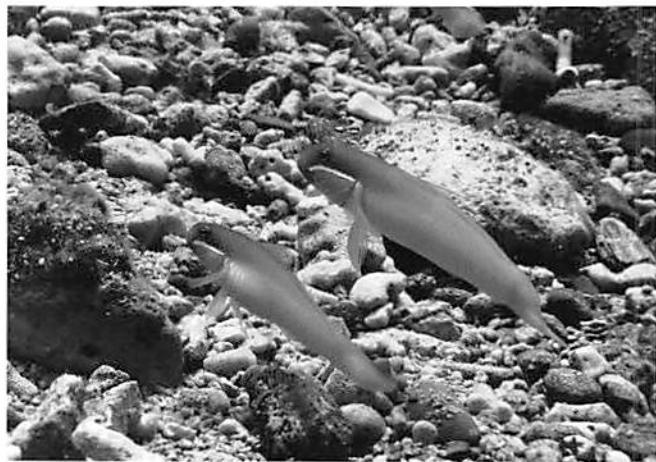
3. いつも一緒です

住んでいるところはサンゴ礁の外縁部の砂泥地で、サンゴ礁の縁や石の下に巣穴を作りペアで仲良く暮らしています。外に出かける時もペア(上下に並んでいる時が多い)でお散歩や食事をします。

食事は2匹同時に取ると安全上問題があるため、どちらかが食事をしている時は、もう1匹は見張り役をしています。食事の仕方は海底の砂を口に含み砂の中の有機物や小動物を捕食し、不要な砂を鰓から吐き出します。鰓からバラバラと砂がこぼれる(散布する)様子は見ていてとても面白いです。

結果的に、食事をしながら海底のお掃除もしています(偉いでしょ!)。

そして、外出時、うっかり離れてしまっても、すぐにペアに戻り、寄り添いながら仲良く泳ぎます。



4. マイホームを自力で作ります

アカハチハゼの巣穴づくりを見ていると面白いです。口に一杯砂を含んで、外に出て吐き出し、また中に入り砂を口に含んで吐き出しを繰り返しています。まるでパワーショベルで穴掘りをしているようにせっせと仕事に精を出しています。時々体を震わせて砂を排除したりしています。お腹が空いたら砂を飲み込んで餌を捕食し、鰓から砂を入口付近に散布(排出)します。また、夏の繁殖期には巣穴の周りに小石やサンゴの欠片を運びかなりの高さに積み上げます。卵を守るため巣穴の城壁にするつもりなのか?ですが、見ていて飽きません。エビと共生(エビが掘った穴に居候)するのではなく、自力でマイホームを作り、ペアで生活しているのには感心させられます。

アカハチハゼは縄張り意識が強く、巣の周りに自分の領海を設定していて、領海侵犯者を見つけるとスクランブルをかけ、口を大きく開けて威嚇します。マイホームと家族を守るために頑張っているパパの姿を愛妻や子供たちに見せているようで微笑ましいです。アカハチハゼを見つけたら、その場にエアが切れるまで腰を落ち着けて、じっくり生態観察することをお勧めします。

★写真集を作っています★

468 通山 多恵子

通山多恵子の世界 VII

★2013★

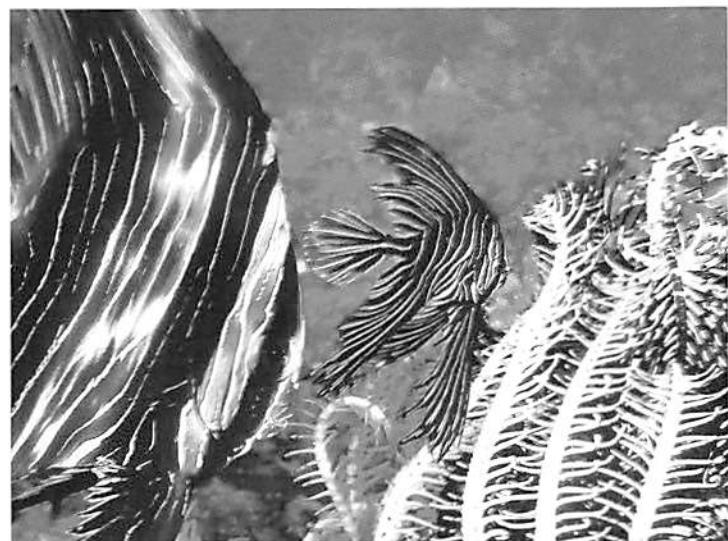


年々写真が増え保存するため「どこでも誰でも見られるよう」自費で写真集を作つて7年。去年の7冊目は、5,000本記念になりました。

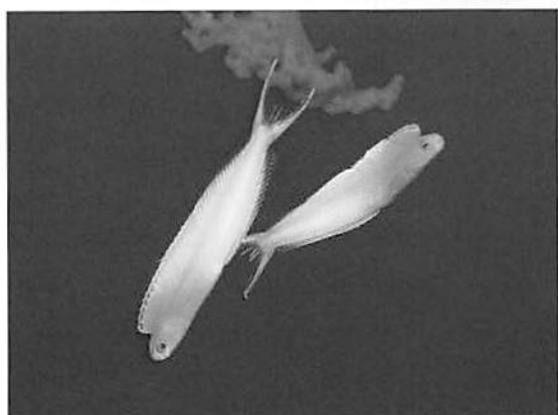
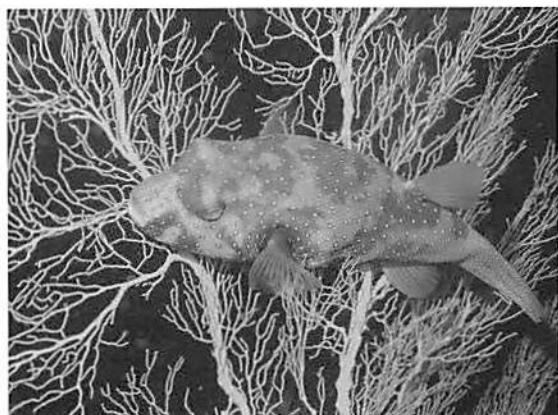
写真を見て「キレイかわいい」と言って貰うのが、元気・やる気の素になっています。

写真歴はニコノスIV型以来42年。ニコノスV型、銀塙一眼、デジイチ、現在はSONY HX9V。

潜り始めは26歳で、42歳でCカード取得。58歳で退職後は潜り三昧の年間250本♪「継続は力なり」です。



ゼブラバットフィッシュ(遊ぶ幼魚と若魚)



セバイクマノミ(群れ)

SDCミュージックサロン



小曾根真クリスマスジャズナイト

419 村上あい子

ミュージックサロン恒例のクリスマス音楽鑑賞は、12月12日渋谷のオーチャードホールにて、“小曾根真クリスマスジャズナイト”でした。19時開演なので、開演前に軽い食事に軽く一杯。ほろ酔い気分でジャズ鑑賞に…。

会場は満席。海老原さんが早期にチケットを手配してくださったおかげで、私たちの席は、何と前から5列目のど真ん中という特等席に並びで着席。

「小曾根真が世界のトッププレイヤーと贈る奇跡の一夜！」とうたっているだけに、世界最高峰のジャズ・サ克斯フォン奏者ブランフォード・マルサリス、リズムセクションには、グラミー賞を獲得したことのあるジェフ“ティン”ワット(ドラム)、クリスチャン・マクブライド(ベース)と豪華な夢のカルテット。

客席もステージも真っ暗な中、ピアノソロ演奏をする小曾根さんがスポットライトで照らし出され、コンサートの幕開けです。しばし素晴らしいピアノ演奏が続いた後、ベース、ドラム、サクソフォンが加わっていき、迫力ある演奏でした。

2曲で一部は終了でしたが、曲はかなりアドリブをきかせたもので、ホットなインタープレイの応酬でそれが主役、息をつく暇もないほど迫力満点でしたが、聴き手もエネルギーのいるものでした。

二部はうってかわって、小曾根真の軽妙なトークをまじえながら、様々な表情の曲を演奏。世界トップレベル奏者の演奏はやはり素晴らしい!! しかも生で聴ける幸せを感じました。

二部終了後もアンコールの拍手はなりやまず、アンコールに応えての曲目はクリスマスソングでした。クリスマスソングもジャズでアレンジすると、こんなにもビートがきいてしゃれた素敵なお音楽に変身するのかと感心して聞き惚れました。

さらに「“きよしこの夜”を会場の皆さんで歌いましょう」という小曾根さんの提案で会場みな一丸となって最高峰のカルテットの伴奏で歌えるなんて至福のひと時でした。“メリークリスマス”的掛け声とともにクラッカー音になると、天井から金、銀のテープ降り、その後には無数の白いハートが舞い降りてきました。ハートの中には“Merry Christmas Happy New Year”的文字と全員のサインが印刷されていました。何とも心憎い演出です。

その後も、もう1曲小曾根真作曲による“Where do you go?”という、しっとりとした心に響く曲を演奏してくださいました。

終了は22時になっていました。3時間もの間、素晴らしいジャズを楽しみ、大きなエネルギーをいただけたコンサートでした。

ミュージックサロン忘年会

12月9日午後4時半よりミュージックサロンのメンバー14名が渋谷のキリンシティに集合し、盛大に忘年会を催しました。

来年の世話を誰にするか決まらないまま、再び海老原が続投することになりました。また、美味しいビール、ワインと手の込んだおつまみに皆大満足。二次会のカラオケではご自慢のノドを披露して、散会しました。

(544 海老原 新)



SDC music salon 2013ミニ忘年会報告

12月9日に決まった忘年会に、セブの計画があり出席できない大隅さんの提案で12月2日にミニ忘年会をやることになった。

ところは、横浜相生町のBar.Bar.Bar。午後7時現地集合に出席者は、大隅夫妻、千野さん、福士さん、太田の5人。この日は、月に一度のスペシャルサービスデー。すべて通常価格の半額とあって客席はほぼ満席。我々グループの席はなんとボーカルマイク下のカブリツキ。

午後7時半、カルテットのリズミカルな演奏が始まった。続いてサックス、ピアノ、ドラム、ベースのソロ演奏。この席ではベースの迫力がすごい。強力なデシベルが五臓六腑に浸み渡る。めったに口にしない1万円ナリのワインをあけ、セカンドステージのクリスマスソング3曲を聴いたところでおひらきとした。

(141 太田 允康)

第40回 吞和会「新年会」

2014年1月18日

世話役 306 宮本 節子



第5回 多摩・武蔵野ご近所の会

クリスマス・イブに八つ頭プレゼント

世話役 427 木村 満男

新年明けましておめでとうございます！本年もよろしくお願ひいたします。

今年も始まりました。今年最初の呑和会は予定が重なった方が多くおられ、参加人数が少なく静かな始まりとなりました。

京都センチュリーホテルの京料理「嵐亭」の懐石料理で「おもてなし」。新入会員さんも参加していただき、和やかなムードで始まりました。

京料理を楽しみながら、やはり、ダイビングの話で花が咲きます。

今年行くポイントの話や色々なところに行った場所の話、そして、鬼が笑うかも…来年の行先まで出ました！クルーズやリゾートでの話しも…

怖かったことや楽しかったこと、色々な場面に遭遇したこと、話しさは多岐にわたりました。

これからも安全かつ楽しいダイビングができることを、そして一人でも多くの仲間と出会うことができますように、海だけでなく、陸でも繋がりが持てますように…。

色々な企画が皆さんから出ることを楽しみにしています。誰かが何かを与えるものでなく、みんなで参考するスタイルになりつつあります。

今後も期待しています。ご参加の皆様、有難うございました。



参加者(9名)

070 河合 貞夫 181 平山 英子 184 岡本 剛亮
305 宮内 弘人 306 宮本 節子 556 田中 宏子
774 斎藤 満弘 787 岡 満男 805 吉田 延子

2013年の12月24日に忘年会を兼ねてクリスマス・イブの夜、各々持ち寄ったクリスマスプレゼントをアトラクションとして男女で交換会を開催しました。予算は500円位としましたが阿弥陀くじで男女御互いに交換で盛り上りました。ダイビング用保温靴下、テーブルコースター、高級ワイン？スキーで楽しめるドイツ製ホットワイン、その他もろもろ。。。でも何といっても人気だったのは、東京武蔵野での農園家、戸塚さん栽培の赤ちゃんの頭位ある大きな八つ頭を2つも大隅照子さんがプレゼントされ大喜び、お正月迎えての八つ頭は貴重品。大隅会長八つ頭煮のとてもお上手だとから聞きました(笑)。小生、早速買ってきて挑戦したが？

忘年会会場は調布駅前の四川料理店でお店の中はクリスマス。イブに行き所のなかった元気な中高年の我々で貸しきり状態。お酒は甕出し紹興酒中心だったが、結構ウキスキ派もいてちゃんとほんして小生酩酊。二次会はSDC映像の会で何回か使った隣の喫茶店で山盛りのフルーツポンチや、あんみつ&談話でクリスマス・イブの夜がふけて行きました。



005 大隅 楠夫 006 大隅 照子 141 太田 允康
173 小元佳代子 310 戸塚 明夫 357 佐藤 道子
417 豊田 映子 427 木村 満男 648 江藤 征雄
661 向井 純一 682 渡里 喬

アウトドアを楽しむ会のレポート

①景信山・餅つき忘年山行 ②幕山・湯河原梅林観賞ツアー



世話人 197 宇留賀 達雄

§ 景信山・餅つき忘年山行 (12月8日催行)

何時かは実施したいと暖めていた山行「景信山での餅つき」です。人気の景信山への登山ルートは幾つも有るのですが最短で登れ、平易な小仏ルートを選択し、メインイベントの山頂での忘年餅つきを楽しみました。女性軍は色とりどりの割烹着を用意、餅つきを皆で楽しみ賞味しました。



山頂で自に杵での餅つき

◎お土産のお餅

昨日は餅つきもあって、楽しいハイキングでした。又、白で搗いた餅は特別美味しいくて、土産に持って帰った餅は美味しいから孫に食べさせるといって、私の口には入りませんでした。最後の忘年会は皆一緒に席にはなれませんでしたが、けっこう盛り上がりました。いつも楽しい企画をしていただき、有難うございます。



景信山での集合写真

◎大変！ デモ楽しかった

景信山ではお世話になりました。山登り初心者の赤羽にお付き合いいただきありがとうございました。特にストックを貸してくださった小山さん、助

かりました。もう少し楽なプランで今度お誘いがあればうれしいと思います。楽しかったです。

◎格別な味

450 竹内 千草

おいしかった！たのしかった！臼で搗きたておもちを久しぶりで味わいました。大根とおろし金を持参してくださった木谷さんありがとう、いいお味でした。柿、みかん、りんご、漬物、その他いろいろみなさんありがとう。

帰りの店で飲んで食べて喋って、家に帰ってからもお土産のおもちをまた食べてちょっと食べすぎ～。「アウトドアを楽しむ会」今年も色々と楽しませて下さり有難うございました。

5 慕山・湯河原梅林觀賞ツアー (2月25日催行)



湯河原梅林の梅

久々の幕山観梅ツアーです。幕山公園(湯河原梅林)は八分咲きながらたくさんの種類の梅が咲き競い、ここは春の装いでした。公園で持ち寄った様々な料理に舌鼓を打ち盛り上がり、名残を惜しむように場所を変え湯河原でも楽しい盛り上がりがありました。



幕山山頂で

ヴィンテージな会の紹介

197 宇留賀 達雄

現在はSDCの公式の行事である、新年会・総会の他「ご近所の会」「ミュージックサロン」「アウトドアを楽しむ会」等沢山の集いが有りますが、その中でも一番長い歴史のある会が「ヴィンテージな会」です。

会員同士が親しく語りそして飲んで、相互にコミュニケーションを図る集いです。

特に入会、間もない会員や、未だ会に不慣れな会員に馴染んで頂くのに格好の場です。

毎年12月に忘年会を兼ね開催しています。

お世話役は、026 良縁寺悦子、486 塙恵美子、197 宇留賀達雄の3人で行なっています。

第4回「まだ潜りたい会」のお知らせ

006 大隅 照子

ちょっと変な名前の会ですがお蔭様で4回目を迎えられました。噂は耳にしたことあるかも知れませんが、ためになるし元気をもらえる会なんですよ！

今回のメインテーマは「目」です。

- ・老眼が進んでね～、小さい魚が見えないんですよ。
- ・そろそろ白内障の手術をしたいんだけど先輩のアドバイスを聞きたい。
- ・100円で手に入れられる海中老眼鏡の作り方教えます。
- ・白内障手術なら先輩の私に何でも聞いて～等、目にに関するお話を聞かせてくれる方がいたら大歓迎です。

その他メインテーマに関係ない悩みを持つての方も、今は元気だけど将来のために参考にしたい方も、気軽に参加して下さい（会員制ではありません）。

ただ～、元気自慢したいだけの方はお断り（笑）

「参加者の参加による参加者のための会」であります。

*日時：5月20日(火) 12:00～3:00

*会場：都心辺りのどこか（後日連絡します）

*会費：5000円

*定員：15名位

参加希望の方はなるべく早く大隅へ連絡願います。
お世話役：006 大隅、018 坂東、124 高木、450 竹内

ねぶた・ねぶた・立佞武多ツアーのご案内

245 今村 孝

過去2004年から昨年まで計5回実施して好評だった「ねぶた・ツアーア」を今年も8/5～8/8日の3泊4日で行う事にしました。

費用に関しては、交通機関は各自手配していただき現地（青森）発着89,000円を予定しております（宿泊先の金額改定により昨年よりUP）。

ねぶた期間中につき確保できる宿泊施設は限られており、先着12名様（男6、女6の予定）です。

最低催行人数は8名（男4、女4の予定）です。

参加者の中に最低2～3名のレンタカー（プリウスを予定）を運転出来る方が必要です。

参加ご希望の方は、当方宛てに参加（運転可・不可）のメール連絡をお願い致します。

（メールアドレスはmotohi@jomon.ne.jp）。

旅程概要は8/5の夜は青森ねぶたに参加（参加時の衣装レンタル代別途）又は見学（桟敷席別途）、8/6の夜は弘前ねぶた、8/7の夜は五所川原立佞武多それぞれの桟敷席での見学です。

8/6と8/7と8/8の帰りの電車までの日中は色々と見学する場所をプランニングしています。

詳細はお問い合わせください。



去年の出陣式

表紙に寄せて 449 大石 和明

パラオに「ピックドロップオフ」というポイントがあります。リーフの棚から数百メートルの水深まで落ちる豪快なドロップオフです。ここはソフトコーラルの宝庫です。潮通しがいいのかこのような巨大なウミウチワが棲息しています。

「フリッパーの会」のご案内

205 江田 隆

昨年は施設の大規模改修の為、8月からの開催でしたが、今年は例年通り4月から開催します。又、6月は水深5mのダイビングプールでの練習を予定しています。

開催決定している練習日

4月21日(月)15:00～17:00 メイン⑩コース

5月9日(金)15:00～17:00 メイン⑩コース

6月以降は未定です。コースの予約が取れましたらメールでご連絡します。

新たに参加希望の方はメール登録をしてください。t-eda3338@mopera.net

練習会場

東京辰巳国際水泳場 東京都江東区辰巳2-8-10

<http://www.tatsumi-swim.net/>

水中映像を楽しむ会

302 福田 孝子

勉強会

2014年第一回目の勉強会は3月10日に開催されました。報告は次号行います。

次回の勉強会は6月26日(木)、場所は板橋ハイブラザ(板橋区の区民施設)です。

見学は自由ですので興味のある方はご連絡下さい。

是非、一緒に水中映像を楽しみましょう。

中部交流の集い

240 山本 伸子

中部は名簿で見ると会員は?

海の情報交換と顔合わせができる食事会等不定期で開催してきました。昨年は春、秋はご縁のあった松本観光ボランティアのお世話になり山菜とり、松茸料理など楽しみましたが、今年は豊田市に新しい会員さんの入会もあり交流会をしたいと思います。

日時場所は未定ですがHPのBBSでお知らせします。遠方より友来たる、歓迎です。

「十和田湖・奥入瀬溪流トレッキングツアー」「大間DEまぐろ・ツアー」のご案内

245 今村 孝

●「十和田湖・奥入瀬溪流…」は紅葉の奥入瀬溪流のトレッキングがメインのツアーです。

新しい企画です。予定は10月23日(新青森駅集合)～10月25日(七戸・十和田駅解散)の2泊3日です。

予定金額は66,000円。(JR券自己負担)

●「大間DE…」は昨年に続いての二回目です。

看板通り本州最北端の大間で「まぐろ」を食べて「まぐろ・祭り」「日本三大霊場・恐山と紅葉」「奇景仏が浦」を見て「べご餅作り体験」をして温泉に2泊(下風呂温泉・薬研温泉)のツアーです。

予定は10月25日(七戸十和田駅集合)～10月27日(同じく七戸十和田駅解散)の2泊3日です。

予定金額は66,000円。(JR券自己負担)

2つのツアーを続けてのご参加も可能です。

いずれも最低催行人員8名、先着順(運転手3名含む)、参加希望者は、245今村孝迄

メールかお電話下さい。旅程詳細別途お知らせ。

これは便利グッズ!!

682 渡里 喬

セーフティ
ダイビング



100均編

ホテルで器材を乾燥させる時、室内でエアコンの風を当てるよう鏡や窓に強力吸盤フックを取り付けて、ハンガーを掛ける。

耐荷重量：4Kg

価格：105円/2ヶ(4月以降は108円?)



賛助会員通信

(五十音順)

アクアガーデン

S12

<http://aqua-garden.net/>

SDC担当:社領 洋平

〒907-0451 石垣市樺海337-23

TEL:0980-89-2152 FAX:0980-89-2158

e-mail: info@aqua-garden.net

Tel:03-6415-8633

e-mail: abe_m@stworld.co.jp

アクアティーク

S65

<http://kumomi.jp/>

伊豆でのダイビングなら雲見へ。リフト付きの専用ボートでエキジットも楽チンです。ダイナミックな地形と魚影の濃さも楽しめます。スキルアップしたい方も大歓迎です。

SDC担当:糸井 泰久

〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎22-1

TEL:0558-43-0690 (携帯:090-9661-0540)

FAX:0558-42-3650 e-mail: info@kumomi.jp

オーシャンビーチちゃん(沖縄本島)

S68

<http://www.oceanbeach-net.com>

〒904-0114 沖縄県中頭郡北谷町港10-20 1F

SDC担当: 藤田 勝弘(ふじた まさひろ)

TEL:098-936-7666

e-mail: ob-info@oceanbeach-net.com

沖縄ダイビングスクールティーダ

S70

<http://www.teada-okinawa.com>

那覇市にあるティーダは、お一人様からでも毎日、各種ダイビングツアー・コースをご案内しております。沖縄ダイブクルーズやシャークラインツアーなど独自のダイビングツアーをご提供します。

SDC担当:直井 香織

〒900-0012 沖縄県那覇市泊2-13-4-1F

TEL:098-860-6868

e-mail: info@teada-okinawa.com

おきなわトロピコ

S61

<http://www.okinawa-tropico.com>

那覇からのダイビングはトロピコへお任せ下さい。毎日慶良間諸島へ出航してます。初夏はギンガメアジ大群を見に粟国、渡名喜遠征ツアーが人気です。チャーターや他ツアーアレンジも賜ります。

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志2-23-8

SDC担当:奥間 敬子

TEL&FAX:098-867-5032

e-mail: letter@okinawa-tropico.com

GOODダイブショップ

S33

<http://www.boholgood.com/>

心新たに10年目を迎えることができました。

何もすごい事はできません。

海を感じて、ボホール島に流れる空気の中で皆様と共に宴を楽しむことが日々の積み重ねです。

6300 c/o BOHOL TROPICS RESORT CLUB

Graham Ave. Tagbilaran City BOHOL Philippines

SDC担当 SDC#601富田恭子 SDC#742 尾上未夏:

TEL 代表携帯:(0)63-999-998-3203

e-mail: info@gooddive.jp

安良里ダイビングサービスTATSUMI

S39

<http://www.izu.co.jp/~arari>

SDC担当:代表取締役 高木辰元

〒410-3500 静岡県賀茂郡西伊豆町安良里111-13

TEL&FAX:0558-56-0703

e-mail: arari@izu.co.jp

(株)エス・ティー・ワールド ダイブナビ

S50

<http://www.divenavi.com/>

STWの阿部でございます。新年会では大変お世話になりました。暖かくなってきましたね。近場でのダイビングの際は、弊社三浦店もご利用ください。ツアーリー相談もお待ちしております。

SDC担当:阿部

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂2-6-17

渋谷シネタワー14F

さうすぽいんとダイビングサービス S46

<http://www4.ocn.ne.jp/~south-p/>
石垣島で今年も6月12日～14日までフォトコンテストが開催され、ビギナー部門、マクロ部門、マンタ部門沢山の賞があり、また無料のフォトセミナーも有ります。どなたでも参加できます。
SDC担当:高嶺 守
〒907-0453 石垣市川平915-1
TEL:0980-88-2277 FAX:0980-88-2661
e-mail: south-p@wonder.ocn.ne.jp

サンテクノ旅行企画 S67

<http://www.santekuno.com/>
名古屋の旅行会社です。ご要望にあわせ、東京、大阪、中部、福岡など全国からの手配可能です。行きにくいマイナーなところへは添乗も可能です。お気軽にお問い合わせください。
〒458-0815 名古屋市緑区徳重4-212
SDC担当:外山一孝
TEL:052-878-3103 fax:052-878-3104
e-mail: tour@santekuno.com

サンドウェーブ(アドミナル株) S26

<http://locoplace.jp/t000231444/>
ツアーは器材の着脱から洗い、運びまで全てお任せの「どこでもフィリピン式」ダイビング♪
器材・メンテナンスは会員番号をおっしゃっていただければ店頭価格より5%割引致します!
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-16-10
小勝ビル2F
SDC担当:下川(ツアーや講習)、近藤(器材販売)
TEL:03-3345-0201
e-mail: 0333450201@warpfin.jp

株)ジスコ・ボルネオ旅行社 S48

<http://jisco.borneotravel.jp>
ボルネオ島(含むカリマンタン)専門の旅行会社。
ラジャアンパット(ロッジ滞在)も、取り扱っております。
〒101-0042
千代田区神田東松下町45 神田金子ビル1階
SDC担当:井上
TEL:03-5294-1233 FAX:03-5294-0094
e-mail: info@borneotravel.co.jp

(有)シーフレンド S62

<http://www.seafriend.jp>

四季の変化に伴い様々な生物との出逢いが出来る渡嘉敷島です。どうぞのんびりしにいらして下さい。

SDC担当:内田哲治
〒901-3502 沖縄県島尻郡渡嘉敷村阿波連155
TEL:098-987-2836
e-mail: info@seafriend.jp

(株)スポーツツアーズ S14

<http://www.sporttours.co.jp>
パラオスポーツ号はMD誌13年連続1位受賞。パラオクルーズは毎日乗下船OKの洋上ホテル。全室シャワートイレ付きの居住性が人気、食事、ダイビング、観光、ホスピタリティに定評。
SDC担当者:西元 澄戸口 川畠
〒162-0853 東京都新宿区神楽坂2-12-1-805
東京本社:03-6276-0550・九州支店:099-227-0550
e-mail: divecruise@sporttours.co.jp

セブ HAPPY ダイブショップ S53

<http://www.cebuhappy.com/>
2014年4月1日より、リニューアルオープンです!
新しい体制で皆様をお待ちしています。
SDC担当:富田 恒子
住 所:HAPPY Diveshop c/o HADSAN COVE RESORT Mactan is. Cebu Philippines
TEL:富田恒子 0999-9983203
代表携帯番号 0999-998-3203
e-mail: happy@gooddive.jp

デイドリーム S47

<http://www.daydream-dive.com>
パラオの海をデイトリップダイビング、龍馬I号ダイブクルーズでご案内しております。今年はサイドマウントダイビングも導入いたしました。お気軽にお問合せ下さい。
SDC担当:公野(コウノ)
P.O.BOX 10046 Malakal Koror, Palau 96940
TEL:+680-488-3551
e-mail: kono@daydream-dive.com

デルフィス・ダイビングセンター/ロイヤルアイランド S37

<http://delphisdiving.com>
モルディブは乾期から雨期に移り変わる季節です。5月中旬から7月上旬はお客様が少なく、のんびりダイビングをお楽しみいただけます。日本人スタッフが皆様のお手伝いさせていただきます。

SDC担当:津金 千尋
住所 : Royal Island, Baa Atoll, Rep of Maldives
TEL: 960-6602247
e-mail: chihiro@delphisdiving.com

トラベルネットサービス(有)

S58

<http://www.tns-travel.co.jp/>
名古屋にある旅行会社です。ミクロネシア・フィリピンを中心に名古屋に限らず成田・関空など出発地問わず手配可能です。
〒460-0008 名古屋市中区栄2-12-12
アーヴ栄白川パークビル1F
SDC担当:森下 亮一
TEL:052-202-3939
e-mail: info@tns-travel.co.jp

ダイブドリームインドネシア

S66

<http://www.dream-asia-pacific.com>
インドネシアのクルーズオペレーション会社。
未知の海が広がる世界一の島嶼国家、インドネシア。その素晴らしい海を、日本人企画・ガイドでご案内。現地旅行法人をもつクルーズ会社。
Danau Tamblingan No.37, Sanur, INDONESIA
SDC担当:唐澤、大塚
TEL:+62-361-270-934 FAX:+62-361-282-914
e-mail: info@dream-asia-pacific.com

株P.I.T.ダイビングショップ&ツアーデスク

S03

<http://www.pit-diving.com>
SDC担当:松山
〒151-0066 東京都渋谷区西原3-7-5 渡部ビル2F
TEL:03-3466-6489
e-mail: travel@pit-diving.com

ぷちアイランド

S15

<http://hwbb.gyao.ne.jp/petit/index.htm>
初夏の日本の海は賑やか!八丈島ではユウゼン玉沖縄はギンガメ玉 伊豆神子元島は大型回遊魚とハンマーヘッド、小笠原諸島はマグロ穴のイソマグロは圧巻!皆様のツアー参加お待ちしています。
SDC担当:金子弘之
〒141-0033 品川区西品川2-7-16
TEL:03-3495-7015 携帯090-3409-8954
e-mail: hw729461@yk2.so-net.ne.jp

BLUE MARLIN

S64

<http://www.meluis.com>

4月以降はGWを除けば比較的空いています。海況も季節の変わり目で風ぐことが多いですから、遠征などもしやすいですよ~。

SDC担当:富永

P.O.BOX 669 KOROR PALAU 96940
TEL: (680) 488-2214
e-mail: bm@meluis.com

(有)フォームライフ

S34

千葉studio SDC担当:代表 藤形誠一
〒270-1471 千葉県船橋市小室町2538
TEL:047-457-3986 FAX:047-497-8616
携帯:090-4375-9819
e-mail : fzt03127@nifty.com

(株)ユー・ツアーサービス

S43

http://www.u-tour.jp/dive_utour/indexr
取扱方面は、ボルネオ、バリ、インドネシア秘境・辺境、フィリピン、タイ、西オーストラリアなどですが、更に新しい場所をリサーチしています。リクエストがありましたら、ご連絡下さい。
SDC担当:村瀬慶美 黒田浩介
〒461-0001 名古屋市東区泉1-17-38
リバーパーク泉2F
TEL:052-963-9500
e-mail: tabikikaku@u-tour.jp

(株)横浜カンパニー

S41

<http://tripplan.jp>
以下募集中です。永吉同行でご案内します。
5月パラオ北部、6月奄美大島、7月レッドシー、
8月ベトナム、9月スリランカ、マダガスカル、奄美
大島、11月フィリピン(アニラオ & クルーズ)
〒135-0033 東京都江東区深川1-4-8
SDC担当: 永吉拓也
TEL:03-6689-3790 e-mail: info@tripplan.jp

LUCKY DIVE SHOP

S54

<http://www.divelucky.com/>
日本人常駐のダイブショップ。
アボ島が目の前に見える豪華リゾート内のダイブ
ショップ! 話題のジンベイダイブも可。アボ島ま
で船で20分の近さです。
〒c/o Private Residence VIP RESORT
Lipayo Dauin, Negros Oriental 6217 Philippines
電話&FAX電話番号:(0063-35) 400-5288
日本人携帯番号:0063-939-916-1557

SDC担当者新(あたらし)功太
e-mail: info@luckydive.jp

レックスツアーズ

S52

<http://www.lectours.com>

メキシコのラパス・イーストケープとコスマル・カンクン近海手配を大得意とする当社は一昨年よりトンガ王国の鯨スイム+ケーブダイブ・クルーズを本格的に催しています。トンガは今年も大人気。

SDC 担当者:田淵 司

〒108-0014 東京都港区芝5-13-18

いちご三田 ビル9F

Tel:03-5765-7010 Fax:03-5765-3173

e-mail: tabuchi@lectours.com

株ワールドツアープランナーズ

S42

<http://www.wtp.co.jp>

豊富な旅&ダイビング知識を持つスタッフがそろ
う、ダイビングツアー専門旅行会社。世界を旅する
ダイバーの味方として皆様をお手伝い致します！
〒105-0013 東京都港区浜松町2-2-3 磯山ビル5F

SDC担当:遠藤 光衛

TEL:03-5425-7711 FAX:03-5425-7713

e-mail: info@wtp.co.jp

セーフティ
ダイビング

スノーケル付けてますか？

738 木藤 伸行



時々、スノーケルを付けていない人を見かけます。頭の重さは体重の10%と言われています。体重50kgなら5kgのウエイトを水面に出しているのと同じ浮力が必要です。頭を出して浮いているのとスノーケルを付けて浮いているのでは体力の消耗が格段に違います。B.Cの浮力に頼らずに、邪魔だからとか、ベテランだから付けないというのは止めましょう。

セーフティ
ダイビング

これは便利グッズ!!

680 玉村 馨



ダイブコンピューターを置き忘れないためのアイデアグッズです。いつもはダイコンのバンドに留めて持ち運びします。

潜るときはネックレスを首にかけたまま、海から上がったらウェットスーツを脱いだりシャワーを浴びる前にまずダイコンを外してネックレスにかけてしまえば次のダイビングまでどこかに置き忘れる心配がありません。

もともと海釣りに使っていた真鯛釣り用のクッションゴムを利用してそれにダイコンをぶら下げるようになりました。

自分で簡単にできます。

釣具店に行ってクッションゴムを探してください。サイズは1.5mm～2mm径の長さ50cmが適しています。2本入りで600円くらい。

ダイコンを架けるカラビナ(リング付き)は写真のようなアルミ製なら300円くらい、プラスチック製やステンレス製の物もありますが、いずれにしても釣具店で購入するのが錯びない秘訣です。

釣り具のネットショッピングでも購入できます。

首にネックレスを架けると何かに引っかかった時に首を絞め危ないと心配する方もおられます。50cmなら首周りの長さなので長くぶら下がったりしません。クッションゴムなので20cm位は伸びて、掛けたり外したりが楽になります。またリングを細めのものを使えば強い力がかかれればリングが伸びて外れます。

最近は口コミでSDCの会員にも利用者が増えているようです。



SDCツアーアイデア（1/4）

【ツアーアイデア】

- (1)会員企団の公認ツアーは会員が幹事となって企画募集し、幹事が参加者のまとめ役として同行します。
- (2)賛助会員企団の公認ツアーは賛助会員がツアーに添乗同行し、ダイビングのガイドもします。
- (3)推薦ツアーは賛助会員の旅行社が現地のダイブショップとタイアップして企画募集するツアーで普通はアテンド無しです。旅行社の担当者が幹事として参加申し込みを受け付け、出発から帰着までの手配をします。現地空港で参加者が集合。
- 一部の推薦ツアーには賛助会員の幹事が添乗同行するツアーがあります。この場合は同行する幹事が現地の責任者です。
- (4)公認ツアーの参加者は原則SDCの会員とし、推薦ツアーはSDC会員以外に賛助会員の一般募集の応募者も参加できます。

【表の見方】

- (1)「—」表示の項目やその他詳細は幹事にお問い合わせ下さい。④募集人数のカッコ内の数字は最少催行人数です。
- (2)概算費用に＊印が付いた金額は燃油サーチャージや空港諸税等が含まれていません。費用の内容は概要欄⑤を参照
　　フライト代や燃油サーチャージ代・諸税などの価格は募集時の現行価格に基づいていますので変更されることがあります。
　　特に記載がない場合に含まれる費用項目は：飛行機代(往復エコノミークラス)、ホテル(2名1室料金)、空港送迎です。
- (3)キャンセルフリー期限以降に自己都合でツアーをキャンセルする場合、キャンセル料が発生します。
- (4)略語の意味：【空き状況欄】A:空きあり B:少し空きあり C:キャンセル待ち。【ツアーアイデア】⑥DS:ダイブショップ
　　⑦H:ホテル、P:ペンション、R:リゾート、BT:バス・トイレ付、ST:シャワー・トイレ付、T:トイレ付、AC:クーラー付

【国内ツアー】

区分	No.	ツアーナンバー (ポイント)	ツアーアイデア	ツアーアイデア		概算費用
	ツアータイプ			概要	概要	
公認会員企団	1433	紀伊大島 2日間	①本州最南端の町、串本の紀伊大島は雄大な自然環境広大な自然に囲まれた環境の中で、ダイビングなどのマリンレジャーを、露天風呂が楽しめます。②現地集合③初級者可④6人⑤⑦リゾート大島⑥1泊3食(夕食バーベキュー)3ダイブ	空き状況	A	2.5万
	7. 14 ~7. 15			幹事	B	635 木原 実
	1434	速富敷島 魚の生態 観察ツアー	①サンゴ礁に生息する魚の生態観察を行う(観察内容を予習、翌日じっくり観察)②那覇泊港集合解散③~④8人⑤~⑥シーフレンド⑦Pシーフレンド・シングルBT⑧各自手配、おともでマイル手配可能⑨高速船、現地送迎、宿泊代(朝夕食付)、8ポートダイブ⑩8月5日まで	空き状況	A	*7.5万
	9. 5 ~9. 10			幹事	B	648 江藤征雄
	1435	第7回 沖縄サンゴ 植付ツアー	①サンゴ移植の勉強会後、チーピン・SDCサンゴの間に植付を実施、その後ケラマにてダイビング②那覇のホテル集合・泊港解散③中性浮力④10人⑤なし⑥トロピコ、久米島:未定⑦那覇:H・クレシア(泊港近く、シングルBT付)、久米島:未定⑧各自手配、おともでマイル可⑨宿泊代(朝食付)、8ポートダイブ、サンゴ苗代(2本)⑩9月20日	空き状況	A	*8.5万
	10. 24 ~ 10. 29			幹事	B	648 江藤征雄
公認賛助会員企団	S1461	沖縄 阿嘉島 5日間	①下潜後に毎日アタックが可能！水温も気温も透明度も高くスキルアップにも最適な時期②羽田空港集合③初心者歓迎④1名~⑥ぶちアイランド⑦あかじまマリン和室BT別⑨宿4泊、8ポートダイブ、送迎、食事10食、羽田→那覇飛行機代金⑩11月4日~8日	空き状況	A	20万
	5. 19 ~ 5. 23 11. 4 ~ 11. 8			幹事	B	S15 金子弘之
	S1454	初夏の 八丈島 2泊	①海況安定、水温21℃~23℃、ユウゼン玉、大型回遊魚、アオリイカの座卵、ニタリも？②八丈島空港集合解散③なし④1人~⑤~⑥ぶちアイランド⑦民宿自由が丘、BT別⑧~⑨羽田発着飛行機後、宿2泊2食付、4ダイブ(ナスマド優先)⑩~⑪延泊可、ツアーアイデア中自由日程	空き状況	A	10万
	6. 1 ~ 6. 10 自由日程			幹事	B	S15 金子弘之
	S1458	沖縄 波照間ツアー ~6. 14	①日本屈指の透明度！波照間ブルーを見に行こう②羽田集合解散③初心者可④5名(2)⑤沖縄ツーリスト⑥アトラス波照間⑦ホテルオーシャンズ2~3名相部屋、BT別⑧JTA⑨飛行機、高速船代、宿泊(朝食付き)、2ポート×2日⑩31日前⑪サンドウェーブ下川誠が同行	空き状況	A	18万
	6. 11 ~ 6. 14			幹事	B	S 26 下川 誠
	S1455	小笠原 父島・母島 12日間	①父島はドブ礁、門ロックへ、鷲島へは1泊クルーズや隸島のマグロ穴へ日帰りで、母島も4本岩、ブルーリボンへ②竹芝桟橋集合③初心者歓迎④1人~⑥ぶちアイランド⑦父島ビーチコマ、母島ラーメン、洋菴BT付き⑧小笠原丸、母島丸の2等乗船料、父島8+母島5ポート、宿2食付き10泊⑨父島のみ(6/25~30)、母島のみ(7/1~6)のツアーも参加可要相談	空き状況	A	40万
	6. 26 ~ 7. 6			幹事	B	S15 金子弘之
	S1460	奄美大島 (北部) 複数日程	①永吉同行。奄美北部、海況よければ太平洋便②羽田発着標準(各地発、現地集合も可)③初級者可④10名(6名)⑤横浜カンパニー⑥奄美DCとめ⑦レスト&ロッジ朝、和室・男女別相部屋(5人)・BT付⑧JAL⑨飛行機代、送迎代、宿5泊代、全食事、8ポートダイブ⑩31日前(早割は別)⑪概算費用の幅は航空券代の幅、マイル利用も可、参加日程相談可	空き状況	A	14~18万
	6. 30 ~ 7. 5 9. 22 ~ 9. 26 複数日程			幹事	B	S41 永吉拓也
	S1459	小笠原 父島 6日間	①台風のリスクが低く、いちばん海が安定しているシーズンに世界遺産の小笠原へ②竹芝桟橋集合解散③50本以上④5人(最小2)⑤小笠原海運⑥⑦小笠原ダイビングセンター2名相部屋BT⑧~⑨船代、宿泊費(食事別)、2ポート×3日⑩31日前⑪サンドウェーブ下川誠が同行	空き状況	A	19.5万
	7. 9 ~ 7. 14			幹事	B	S 26 下川 誠
	S1463	南伊豆 神子元島 複数日程 ①項参照	①経験とスキルに合わせてハンマーheadの大群に会いに、伊豆近海の底力を体感②伊豆急下田駅集合、解散③初心者歓迎④1人~⑥ぶちアイランド⑦下伊豆温泉石廊館和室BT大浴場、露天風呂あり⑧4ポートダイブ、2泊朝食付き。2ポートダイブ、1泊朝食付きは4万⑨7月23日~29日、8月22日~9月11日、9月22日~28日、10月7日~10日	空き状況	A	7.5万
	7. 23 ~ 10. 10 複数日程 ①項参照			幹事	B	S15 金子弘之
	S1457	南九州 秘境ツアー 薩摩群島 ~8. 7	①絶景に載っていない野生の海、美しいキビナゴ、湧き上がる魚群、手つかずの海、海況良好時薩摩硫黄島1泊クルーズ②羽田集合解散③要中性浮力、初心者歓迎④1人~⑥ぶちアイランド⑦がんじん荘和室、BT別⑧薩摩島住復飛行機代、現地送迎、宿代、全食事、8ポート	空き状況	A	24万
	8. 2 ~ 8. 7			幹事	B	S15 金子弘之
	S1488	三宅島 ダイビング &御嶽島 トルファン 8. 13 ~ 8. 16	①御嶽島のイルカは世界一フレンドリー！間近で見れフルサポート②竹芝桟橋集合解散③初心者④5名(2)⑤東海汽船⑥⑦ペンションサンクトモ、和室、3名相部屋、アウトバス⑧船代宿泊費(朝夕付)、2ポート×1日、2ポート×1日、ドルフィンスイム半日⑩31日前⑪サンドウェーブ下川誠同行	空き状況	A	13万
	8. 13 ~ 8. 16			幹事	B	S 26 下川 誠
	S1482	鹿児島 トカラ列島 口之島 9. 29 ~ 10. 3	①秋のベストシーズンにトカラへ！平瀬、ニヨン瀬など野生の海を体感！②羽田空港集合解散③マイナス浮力潜降できる方④1名~⑥ぶちアイランド⑦トカラ列島口之島民宿和室、BT別⑧東京~鹿児島間の飛行機代金、鹿児島~口之島間のエリーライダーハイ3泊3食付き⑨ダイブ	空き状況	A	28万
	9. 29 ~ 10. 3			幹事	B	S15 金子弘之
	S1484	南九州 秘境ツアー 薩摩群島 ~10. 17	①絶景に載っていない野生の海、食事は新鮮魚介類に黒豚三昧！②羽田空港集合解散③ぶちアイランドで一度ツアー参加④1人~⑥ぶちアイランド⑦がんじん荘和室、BT別⑧東京~鹿児島往復飛行機代、現地送迎、宿代、全食事、8ポート	空き状況	A	21万
	10. 13 ~ 10. 17			幹事	B	S15 金子弘之

SDCツアーアイデア一覧表 (2/4)

【海外ツアーアイデア】

区分	No.	ツアー名 (ポイント)	ツアー概要										概算費用
			①ツアーの狙い	②ツアー方式	③参加条件	④募集人数	⑤旅行代理店	⑥利用ダイブショップ	⑦宿泊施設・部屋	⑧航空会社	⑨概算費用・費目	⑩キャンセルフリー期限	⑪備考
公認	1405	アンボン島	①全く違う二つの島を楽しむ、豊満のアラな生物の内海とダイナミックな地形やワイドの外洋										* 25万
	11. 18 ~ 11. 23	8日間 インドネシア	②成田/関空 ③要中性浮力 ④12名 ⑤ユーツア ⑥マルクダイバーズR, ツインTS ⑦ガルーダ ⑧全食事、満内13ポート、燃油込(諸税と査証約5千円別途)⑩31日前⑪リゾートの予約時4.8万の保証金要(返金不可)、外洋ポイントや還債は追加15-20USD/本										B
	S1404	パリ	①マンボウを高確率で! フルサポートで楽チンダイビング! ②成田集合解散 ③50本以上										308 宮本節子
公認賛助会員企団	9. 5 ~ 9. 10	6日間 インドネシア	④5名(2) ⑤エスティーワールド ⑥スランガンマリンサービス ⑦スワステカパンガロー 2~3名相部屋 ⑧燃油サーチャージ、諸税込(朝星付)、B ⑨ガルーダ・インドネシア航空 ⑩31日前⑪サンドウェーブ下川誠同行										A
	S1405	ルルツ島	①ザトウクジラと泳ぎに行こう! ②成田集合解散 ③スノーケリングができる方④8名(3名)										46. 5万
	9. 29 ~ 10. 4	6日間 タヒチ	⑤アセントツア ⑥ペンションテマラマ 2~3名相部屋、BT ⑦エアタヒチヌイ航空 ⑧宿泊(食事付)、ホエールスイム2日半、燃油・諸税込 ⑩31日前⑪サンドウェーブ 下川誠同行										S28 下川 誠
企団	S1406	ディマクヤ	①フィリピンにジュゴンを見に! フルサポートなので楽チンダイビング ②成田集合解散										29万
	11. 6 ~ 11. 10	6日間 フィリピン	③初心者 ④5名(2名) ⑤ユーツア ⑥ジュゴンダイビングセンター ⑦クラブ・パラダイス 洋室2名相部屋、BT ⑧フィリピン航空 ⑨宿泊費(食事付)、4ポート、燃油・諸税込 ⑩31日前⑪サンドウェーブ 下川誠同行										S28 下川 誠
	N1433	アニオナ	①新鮮な海水が入り込むため多種多様な珊瑚、生物 ②成田発着往復直行便 ③初級者可										10. 5万
推進	5. 11 - 7. 10発 毎日出発	4日間 フィリピン	④1人~ ⑤カールドワーブランナーズ ⑥バシフィックブルー責任者: 大塚義生 ⑦バシフィコアズールR、デラックスST ⑧フィリピン航空 ⑨食事(朝3、昼2、夕3)、燃油・諸税約1.7万込、5ダイブ付 ⑩31日前⑪地方発は問合せ、現地責任者: フレンドシップツアーズ&リゾート										A
	N1448	チェンデラワシ クルーズ	①数匹のジンベエが集うチェンデラワシ湾、人も少なく塔船できます、固有種や地域カラーの魚										* 3350ドル
	5. 31 ~ 6. 6	10日間 インドネシア	②現地ジャカルタ空港集合解散(成田・関空港発着手配も可)③中性浮力、フリー潜降、(お姫・跋エギット可) ④6名前後(筏行決定済み) ⑤⑥ダイブドリームインドネシア磨崖百年突 ⑦シーサファリ8号洋室、全室ST ⑧国内線エクスプレスエア(日本からのフライト手配は別途) ⑨国内線飛行機、現地送迎、乗船中全食事、15ダイブ、諸税別 ⑩31日前⑪マイレージ使用可										S42 谷岡 謙
企団	N1425	レッドシー クルーズ	①永吉同行。ミラノ経由でシャルム直入り。カイロ必要なし。最大20ダイブ ②成田空港集合										* 39. 8万
	7. 9 ~ 7. 19	11日間 エジプト	③要中性浮力、フリー潜降 ④10人(8) ⑤横浜カンパニー ⑥サイナイダイバーズ ⑦ガザラ母ツイン、各室S.T ⑧アリタリア航空 ⑨燃油・諸税・公園料など約5.5万円別、18~20ダイブ、全食事付 ⑩⑪現地責任者: 永吉拓也										S41 永吉拓也
	N1459	トンガ ホエールスイム +ケーブダイブ クルーズ	①ザトウ鯨とのスノーケリングを4泊5日のクルーズで、豪快なケーブ・ダイビングも ②成田										* 49万
企団	7. 12 - 10. 11発 複数日程 ⑪項参照	6日間	④4人~ ⑤レックスツアーズ ⑥トンガワールド ⑦プリンセス・ロイヤル号 ⑧ニュージーランド航空 ⑨トンガ及びポートでの全食事、諸税、燃油約5.9万円別途、トンガ半日観光 ⑩180日前⑪現地責任者: トンガワールド 緯行日: 7/12, 19, 8/9, 23, 30, 9/13, 20, 27, 10/11発9日間										~51万
	N1460	ラパス+	①コルテス海でアシカやジンベエ、ハマヘッド、イーストケーブはカジキマグロ、モブ ②成田										* 24. 9万
	7. 15 - 10. 11発 複数日程 ⑪項参照	8日間 メキシコ	③~ ④2人~ ⑤レックスツアーズ ⑥Cortez Club, East Cape Divers ⑦Seven Crown La Paz, Palmas do Cortez(E.Cape) ⑧アメリカン航空 ⑨朝食、星食(ダイビング時)、ダイビング代(1日2~3本)、諸税、燃油税約6.8万円別途 ⑩31日前⑪緯行日: 7/15(土)~10/11(土)の間、毎週土曜日発(緯行日によりフライト代変動)、現地責任者: ⑦と同じ										S52 田淵 司
企団	N1440	サンタレイテ クルーズ	①ヨーロピアンでござわらマクロ天国! 2クルーズ限定 ②成田発着、他空港見積り可 ③OW										23万
	7. 16 ~ 7. 21	6日間	④8名 ⑤スポーツツアーズ ⑥レッスンツーパラオ ⑦パラオスポーツ号 洋室2段ベッドST付 ⑧フィリピン航空 ⑨燃油・諸税込、乗船中の食事、SDC特典: 5千円割引 ⑩51日前⑪複数緯行日: 7/16-21, 7/22-27、船室SQL料1泊9.5千、現地責任者: 下枝久美子										S14 西元君子
	N1451	チェンデラワシ クルーズ	①チェンデラワシ湾は固有種の宝庫、ジンベエとのダイビングものんびり可能な夢のポイント。										40万
企団	8. 10 ~ 8. 18 9. 14 ~ 9. 22 複数日程	9日間 インドネシア	②成田・関空発 ③初級者 ④10人 ⑤ワールドツアープランナーズ ⑥⑦バヌニヨット2名1室 1名参加の場合男女別相部屋 ⑧ガルーダインドネシア航空・ライオンエア ⑨燃油・諸税込、食事(朝6・昼5・夕6)、ダイビング最大20ダイブ ⑩問合せ ⑪現地責任者: ⑦と同じ										S42 谷岡 謙
	N1454	タヒチ	①タヒチの中でも大物遭遇率高いランギロア島 ホテル・キアオラ利用 ②成田発着、地方発は問合せ ③初級者可 ④1名~ ⑤カールドワーブランナーズ ⑥トップダイブ ⑦Hキアオラ&スバ⑧エアタヒチヌイ経由便 ⑨燃油・諸税約4.1万込 8ダイブ付、朝食5 ⑩31日前⑪緯行日: 8/16, 8/18, 9月13, 15, 20, 22日発(9月発+6千) 1人参加別途料、現地責任者: タヒチ スイトラベル										48. 8万
	8. 16 - 9. 22発 複数日程 ⑪項参照	8日間 ポリネシア	⑩5ダイブ、世界遺産ホイアン観光付。燃油・空港税込 ⑫7月1日より⑪永吉拓也同行										S42 谷岡 謙
企団	N1455	チャム島	①チャム島で2日間ダイブ＆ノスタルジックな世界遺産ホイアン街散策 ②成田空港発着 各地方										21万
	8. 18 ~ 8. 22	5日間 ベトナム	発現地集合も可 ③初級者歓迎 ④10名(6) ⑤横浜カンパニー ⑥チャムアイランドダイビングセンター ⑦ビンフンII ST ⑧ベトナム航空 ⑨飛行機代、送迎代、宿泊代、食事(朝3昼3夕4) 5ダイブ、世界遺産ホイアン観光付。燃油・空港税込 ⑩7月1日より⑪永吉拓也同行										S41 永吉拓也
	N1447	ボホール& ドゥマゲッティ	①ドゥマゲッティとボホール両方のエリアで、ジンベイポイントも好評中 ②成田・関空・中部発着										* 成田15. 4万
企団	8. 19 ~ 8. 26	8日間 フィリピン	③OW ④10名(最小1名) ⑤トラベルネットサービス ⑥LUCKY GOOD DS共催 ⑦セブ・ペラビスタ、ドゥマゲッティ: VIP R、ボホール: ボホールトロピックス ST, AC ⑧フィリピン ⑨燃油・諸税 2.5万別途、12ポート(ジンベイポイント・スマロン・ダーウィン・アボ・バングラオ島北側カビラオ・バリカサグ)、朝食7、入湯料等別途 ⑩31日前⑪中部* 15. 3万、現地責任者: 新功太、神田真児										S58 森下亮一
	N1462	パラオ クルーズ	⑪デルタ直行便! ダイビングと観光プランがセットになったパラオを大満喫するプラン ②成田他空港問合せ ③~ ④8名 ⑤スポーツツアーズ ⑥レッスンパラオ ⑦パラオスポーツ号2段ベッド、男女別相部屋、ST ⑧デルタ航空 ⑨燃油・諸税込、乗船中食事、前後泊ホテル ⑩31日前⑪緯行日: 8/19, 9/23日(+6千)発、SDC特典5千円引、SQL料1泊9.5千、現地責任者: 西元君子										成田 19. 5万
	8. 19~8. 24 複数日程 ⑪項参照	8日間	⑩31日前⑪中部* 15. 3万、現地責任者: 新功太、神田真児										A

SDCツアーアンケート表 (3/4)

【海外ツアー】

区分	No.	ツアーナンバー (ポイント)	ツアーディテール	ツアーオーバー		概算費用
	ツアータイプ			ツアーディテール	空き状況	
N1450	9. 1 — 9. 10発 複数日程 ①项参照	タオ島 6日間	タオ島 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:9/1、2、3、4、5、8、9、10日発、1人参加別途要、現地責任者:ピックブルー	空き状況	16.3万	
N1444	9. 1 — 10. 31発 複数日程 毎週土曜発	シバダン クルーズ 10日間	シバダン クルーズ 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:9/1、2、3、4、5、8、9、10日発、1人参加別途要、現地責任者:ピックブルー	幹事	A	
N1445	9. 1 — 11. 30発 複数日程 毎日出発可	マラバスクア 4日間	マラバスクア 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:9/1、2、3、4、5、8、9、10日発、1人参加別途要、現地責任者:ピックブルー	空き状況	*26.9万円	
N1446	9. 1 — 11. 15発 複数日程 ①项参照	モアルボアル 5日間	モアルボアル 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:9/1、2、3、4、5、8、9、10日発、1人参加別途要、現地責任者:ピックブルー	幹事	A	
N1456	9. 4 ～ 9. 11	スリランカ 8日間	スリランカ 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:9/1、10/15、11/5、15日発、1人参加別途要、現地責任者:ピックブルー	空き状況	S44黒田浩介	
N1435	9. 7 ～ 9. 21	ココ島 クルーズ 15日間	ココ島 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:9/1、2、3、4、5、8、9、10日発、1人参加別途要、現地責任者:ピックブルー	空き状況	10万	
N1436	9. 14 ～ 9. 25	ガラパゴス クルーズ 12日間	ガラパゴス 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:9/1、2、3、4、5、8、9、10日発、1人参加別途要、現地責任者:ピックブルー	空き状況	A	
N1457	9. 30 ～ 10. 11	マダガスカル 12日間	マダガスカル 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:9/1、2、3、4、5、8、9、10日発、1人参加別途要、現地責任者:ピックブルー	空き状況	S42 谷田謙	
N1446	10. 1 — 10. 31発 複数日程 毎日出発可	リロアン 5日間	リロアン 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:10/1、2、3、4、5、8、9、10日発、1人参加別途要、現地責任者:ピックブルー	空き状況	*11.9万円	
N1452	10. 4 — 10. 25発 複数日程 ①项参照	ワリンディ 8日間	ワリンディ 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:10/4、11、18、25日発、1人参加別途要、現地責任者:ワリンディ	空き状況	A	
N1453	10. 18 ~ 10. 25 11. 8 ~ 11. 15 複数日程6月～ ①项参照	モルディブ クルーズ 8日間	モルディブ 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:10/18、19、20日発、1人参加別途要、現地責任者:モルディブ	空き状況	S42 谷田謙	
N1442	10. 26 ～ 11. 2	モルディブ クルーズ 8日間	モルディブ 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:10/26、27、28日発、1人参加別途要、現地責任者:モルディブ	空き状況	27.2万	
N1458	11. 5 ～ 11. 12	フィリピン クルーズ &リゾート 8日間	フィリピン 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:11/5、6、7、8、9、10、11、12日発、1人参加別途要、現地責任者:フィリピン	空き状況	A	
N1461	11. 8 ~ 15 複数日程 6月から毎月1回 ①项参照	ラジャアンパッド リゾート滞在 8日間	ラジャアンパッド リゾート滞在 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:11/8、9、10、11、12、13、14、15日発、1人参加別途要、現地責任者:ラジャアンパッド	空き状況	S48 湾野・井上	
N1443	11. 12 ～11. 17	インドネシア カミギン島 フィリピン	インドネシア カミギン島 日本人スタッフがガイドする名物トウアカクマノミのハッチアウトやオイルランバゼ、ギンガメアジ、バラクーダの群れ、ジンベエも成田発着 ②初級者可 ③中性浮力、フリー潜行 ④2人～ ⑤ユーツアーブランナーズ ⑥ピックブルー ⑦サンスマイル ⑧タイ航空 ⑨燃油・諸税込、食事(朝4・星3)、10ダイブ ⑩運行日:11/12、13、14、15、16、17日発、1人参加別途要、現地責任者:カミギン島	空き状況	A	
				空き状況	S67 外山一季	

SDCツアーアイテム一覧表 (4/4)

継続して募集中のツアー一覧(会報60号に掲載されたツアー参照)

	日程	No.	ポイント	旅行代理店/DS	掲載会報	幹事
公認	6. 19 ~ 6. 30	1432	小笠原父島 2航海	スポーツツアーズ	60号	635 木路 学
	8. 1 ~ 8. 6	1431	西表島 6日間	ホリデーツアーファミリー	60号	735 道上 熟
	8. 8 ~ 8. 14	1407	トランパン7日間	ユーツアー	60号	580 山下一朗
推薦	5. 24 ~ 12月発	N1441	ラジャアンパドリゾート滞在 9日間	ジスコボルネオ	60号	S48 海野・井上
	6. 4 ~ 6. 12	N1426	スルーエクスカーションズ9日間 (フィリピン)	サンテクノ企画	60号	S67 外山一孝
	6. 14 ~ 6. 21	N1437	トウバタハリーフクルーズ 8日間	スポーツツアーズ	60号	S14 西元君子
	6. 21 ~ 6. 30発	N1434	モルディブクルーズ8日間	ワールドツアーブランチーズ	60号	S42 谷岡 順
	7. 9 ~ 7. 14	N1427	カミギン島 6日間	サンテクノ企画	60号	S87 外山一孝

SDC公認ツアーおよび推薦ツアーに関するお問い合わせ、及びツアー計画書の提出先 : 680 玉村 勝・753 都築 和子
あて先 E-mail: tamamura-k@ninus.ocn.ne.jp および bimini1998@jcom.home.ne.jp (都築 和子)

推薦ツアーをうまく利用しましょう。できるだけ友人と二人以上で申し込む、仲間を説うのがコツです。

出発前に参加者が連絡を取り合って空港から一緒に出掛けられます。現地では日本語の話せる責任者が空港まで迎えに来るので安心です。

ツアーディレクターの内容、燃油サーチャージを含むかどうか、ホテル部屋タイプ、含まれるダイブ本数、食事などが明瞭です。

概算費用は*印付きの金額は燃油サーチャージや空港諸税などが含まれていません。無印は燃油・諸税を含む金額です。

賛助会員が幹事なので日程の調整とか、グループツアーに利用するなど会員の要望も相談できます。

編集雑感

メキシコ・イスラムヘーレスからの帰り、経由地ダラス空港が氷点下7℃雪でした。雪のせいか、機材の故障か分りませんが2時間遅れで搭乗し、それから機体の除雪をして、さらに遅れて飛び立ちました。東京が到着翌日から大雪情報でしたので帰れるかどうか心配でした。幸い予定当日内に到着して無事帰宅できましたが、翌日到着した人たちは成田空港泊りになったとニュースで聞きました。世界中あちらこちらで自然災害、事故、事件、騒乱等色々な事が起ります。どんなところでもサバイバルできるように準備を心がけたいと思いました。 (渡里喬)

SDC創立20周年記念Tシャツの、担当することとなりました。新年会での当日販売では予定数超えてしまい、予約の役員の方々は後回しとなりご迷惑をお掛けしました。追加発注発送等と校正が重なりましたが、追加分の発送も完了し一段落です。

私自身体力の低下を感じる昨今、今迄出来た事がスムーズに出来ない現実に向き合い。日頃から体力の維持とブランクを作らない、最近はエスカレーターとバスの利用を控え歩く事を心掛けるけています。

尚、格安航空券の記事は貞の関係で次号からとなります。こんな風にして安くGetしたとの情報がありましたら、お寄せ願います。 (名倉三也子)

今号の編集作業がピークに差し掛かった2月中旬にバリ島で大きなダイビング事故が発生しました。会員の皆様も関心を持って、事件の行方をご覧に

なったと思います。残念ながら、亡くなられた方は一番高齢の方でした。海上保安庁からの平成24年度のダイビング事故の報告を見ると、死者・行方不明者は22名。その内、21名が40歳以上でした。加齢は仕方がないことですが、ダイビングプランを熟慮し、自信過剰にならないことが大切だと思いました。

(小林孝子)

初めて編集を担当しました。初めは記事が集まるかとても心配でした。人脈も無くどうしようか途方に暮れていますが、新年会や役員会等で耳を立て、新年会出欠葉書で目を大きくしたりし、無理なお願いを乱発?てなんとかまとめることができました。

最近は殆どが個人・個人グループツアーでなかなか情報が集まりません。これから行かれる方は必ず?ツアーレポートの提供をお願いします。

バリ島の漂流事故は大きく騒がれましたが、隠れたヒヤリハットは多く存在しています。体力気力は勿論のことですが器材の手入れ・用意は怠らない様にしたいと思います。 (木藤伸行)

訃報

会員 No.579 湯下晃さんが2013年12月に亡くなられました。謹んで哀悼の意を表します。

SDC写真館

初めての…



1. シチセンムスメベラ(幼魚)

128 平野 昌子

頭からお腹にかけての淡い色合いが
バックがグリーンなので映えますね。

カメラ：キャノン S120 初使用

撮影地：フィリピン・セブ島「マノリバ」

撮影日：2013年12月6日



2. 初めて撮ったシムランス

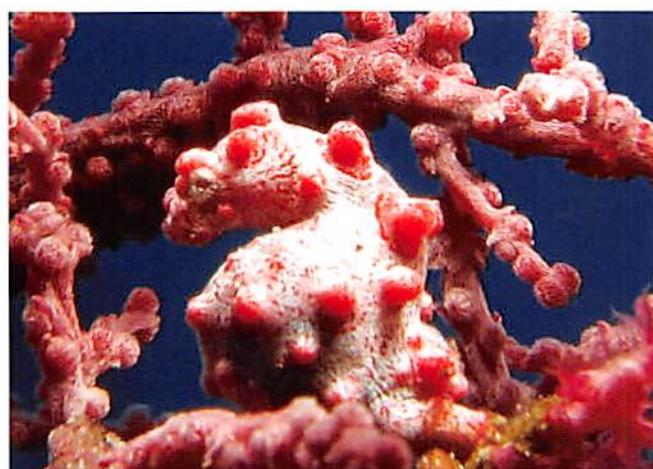
302 福田 孝子

5 mmほどのシムランスシュリンプ、
撮った写真はなかなか綺麗で可愛いエビでした。

カメラ：Nikon D300

撮影地：フィリピン・セブ島

撮影日：2013年12月12日



3. 初めての「ピグミーシーホース」

646 鈴木 麗子

初めての場所で、買ったばかりの新ストロボ、
超お姫様ダイブも初体験しながら、
初めて撮れたピグミー、
奇跡的に初めて尽くしの作品です。

カメラ：Canon Power Shot S110

撮影地：バリ島・トランバン

撮影日：2013年10月9日



4. ゴールデンバタフライフィッシュ

753 都築 和子

初めて使ったTG-2、
マクロがすぐれもので、
ペアが可愛く撮れました。

カメラ：TG-2 Tough

撮影地：レッドシー

撮影日：2013年7月10日

SDC 主要行事のご案内

SDC 全国のご集い

2014年総会・懇親会

日時：2014年6月1日（日）12:00～16:30

*11時からビデオ・スライドショー（自由参加）

*パートⅡで海の情報交換のテーブルを配置

会場：恵比寿イーストギャラリー

JR山手線・埼京線。地下鉄日比谷線

「恵比寿駅」西口徒歩2分

会費：8,000円

2015年新年会

日時：2015年1月24日（土）11:30～16:30

会場：アジュール竹芝

東京都港区海岸1-11-2

JR山手線・京浜東北線モノレール浜松町駅
北口徒歩7分、都営浅草線・大江戸線大門駅
B1出口より徒歩8分。東京臨海新交通ゆり
かもめ竹芝駅より1分。

会費：1万円

全国から参加する会員との交流を深め、
また新しい仲間を見つける絶好の機会です。

多くの会員の参加を期待しています。

イーストギャラリー会場の地図



関西地区懇親会

日時：2014年12月7日（日）

12:00～16:30

会場：大阪第一ホテル

大阪市北区梅田1-9-20

大阪駅より徒歩3分

各線梅田駅より3～5分

会費：1万円

*皆様のご参加をお待ち申し上げて
おります。

詳細：306 宮本節子まで

大阪第一ホテル会場案内図



SDC の紹介と入会のご案内

SDCはスクーバダイビングを共通の趣味とする任意の団体です。年齢は30～90歳代、地域は全国に拡がっています。SDCでは新年会や懇親会等の集いや、数多くのダイビングツアーや雑誌の季刊発行を行うと共に、ダイビング以外の趣味の会、懇親サークル等様々な活動を通して会員相互の親睦に努めています。現在、会員数は約300名で、更なる会の充実を図って行きたいと思っております。「安全潜水」、「個人責任」、「助け合い」など当クラブの行動原則を理解して行動して下さる方が入会可能です。入会希望の方は事務局までご連絡下さい。

日本シニアダイバーズクラブ事務局 〒252-0144 神奈川県相模原市緑区東橋本2-8-25 阿久津省一方
携帯電話：090-4094-3179 FAX 042-733-2326 E-mail s.akutsu1@jcom.home.ne.jp